

2021年9月期 会社説明会資料

2021年11月26日



DAISHI HOKUETSU
Financial Group

第四北越フィナンシャルグループ

※ 第四北越フィナンシャルグループを「第四北越FG」または「FG」と記載しております

2021年9月期決算

FG連結中間純利益	3
部門別 中間純利益の状況	4
<FG連結・銀行単体> 増減要因	6
貸出金残高	8
預金等残高	9
非金利収益分野	10
経費	12
不良債権比率／ネット信用コスト	13
自己資本比率	14
経営統合によるシナジー	15
2022年3月期 業績予想	17

第二次中期経営計画

第二次中期経営計画の最重要テーマ「3大シナジーの発揮」	19
3大シナジーの発揮	
○合併シナジー	20
トプラインシナジーの発揮	
対面チャネルの強化	21
非対面チャネルの強化	23
ノウハウの深化・拡充	24
意識統合・人材育成	26
コストシナジーの発揮	
コスト管理・人員適正化	28
生産性向上	29
○グループシナジー	30
グループ再編・事業領域の拡大	31
ガバナンス強化・グループ連携	32
地域商社・人材紹介会社	33
○TSUBASA連携シナジー	35

ESGの取り組み

「ESG・SDGs」の取り組み	38
-----------------	----

資本政策

2022年3月期 配当金予想	43
----------------	----

Appendix

経営指標	46
ポートフォリオ変革の深化に向けた6指標	47
地域への貢献に関する評価指標	48
2021年9月期決算 概要	49
貸出金残高・利回り等	51
預金等残高・預かり資産残高	52
非金利収益分野	53
有価証券	54
不良債権比率／ネット信用コスト	56
自己資本比率	57
グループ各社の状況	58

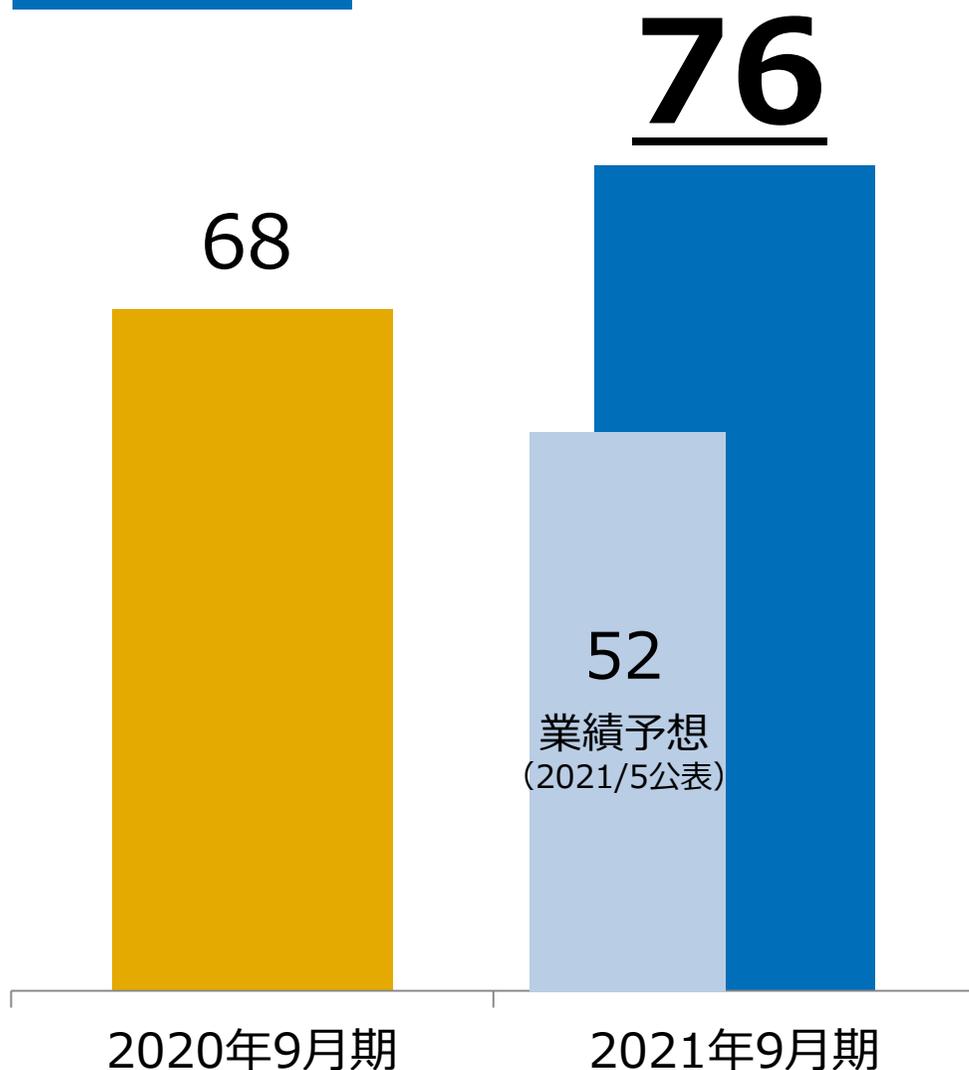
【計数の表示方法について】

2021年1月1日付で、当社の完全子会社である第四銀行及び北越銀行は、第四銀行を存続会社、北越銀行を消滅会社として合併を行い、商号を第四北越銀行に変更しております。本資料における第四北越銀行の計数につきましては、各項目の適正な期間比較を行う観点から、下記のルールに則り算出した計数を記載しております。

- ・2021年9月期、2021年9月末、2021年3月末の計数
第四北越銀行の計数
- ・2021年3月期
2020年4月～12月の第四銀行及び北越銀行の計数と、2021年1月以降の第四北越銀行の計数を単純合算
- ・2020年9月期、2020年9月末（自己資本比率を除く）までの計数
第四銀行及び北越銀行の計数を単純合算
- ・各年度末（自己資本比率）の計数
第四銀行及び北越銀行のそれぞれの計数

2021年9月期決算

FG連結 (億円)



前年同期比

+ 8億円
(+ 11.9%)

業績予想比

+ 24億円
(+ 46.4%)

グループ会社部門 (億円)

※ 持株会社・銀行を除くグループ会社の親会社株主に帰属する中間純利益の合計

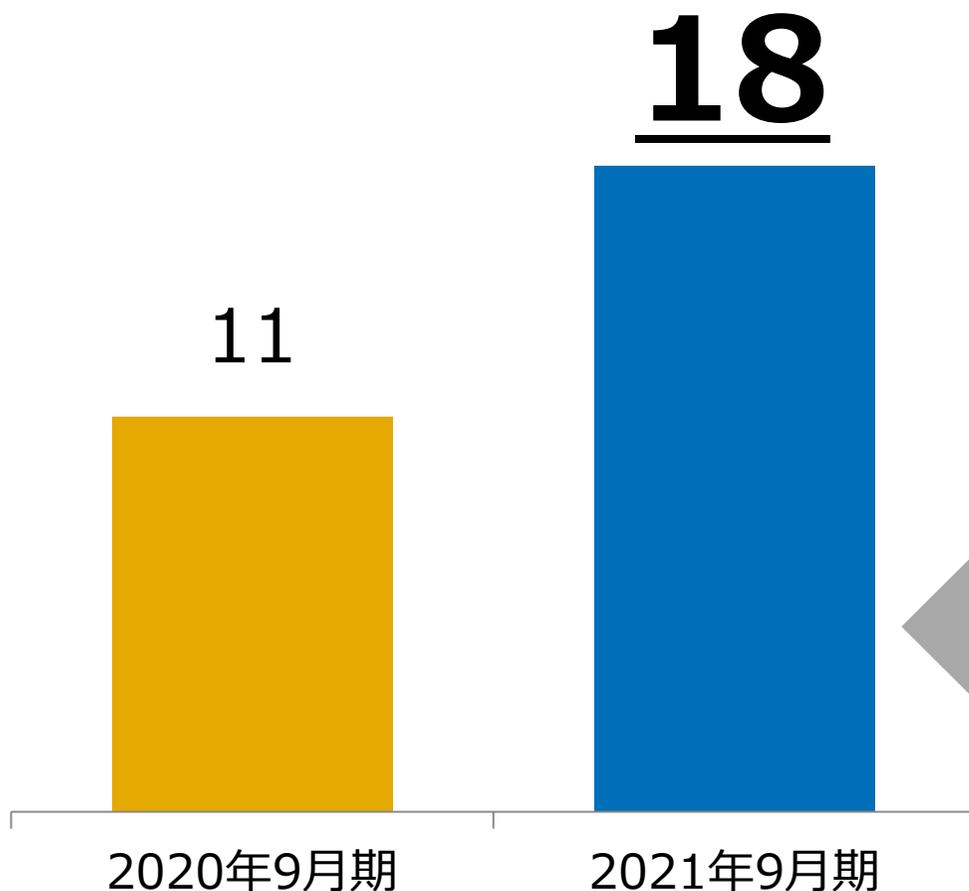
前年同期比

+7億円
(+59.3%)

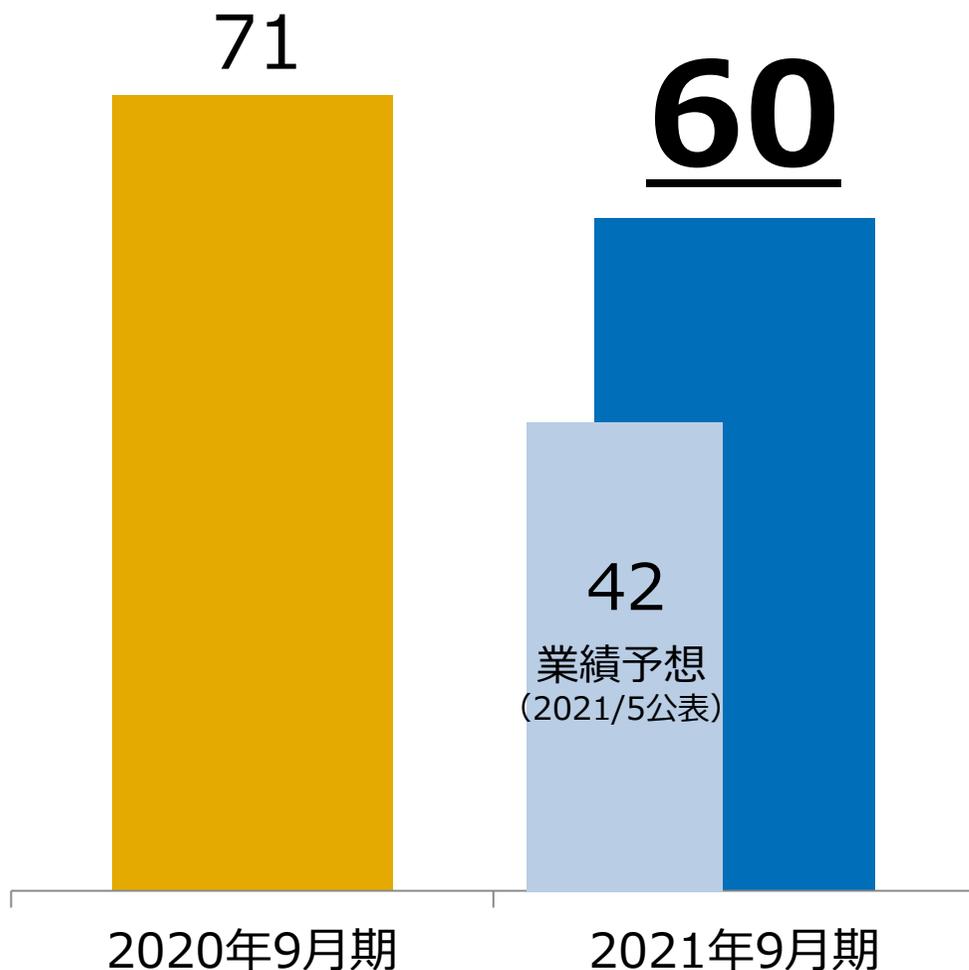
第四北越証券

前年同期比+6億円 (+163.7%)

－ 銀行との証券仲介収益が増加



銀行単体 (億円)



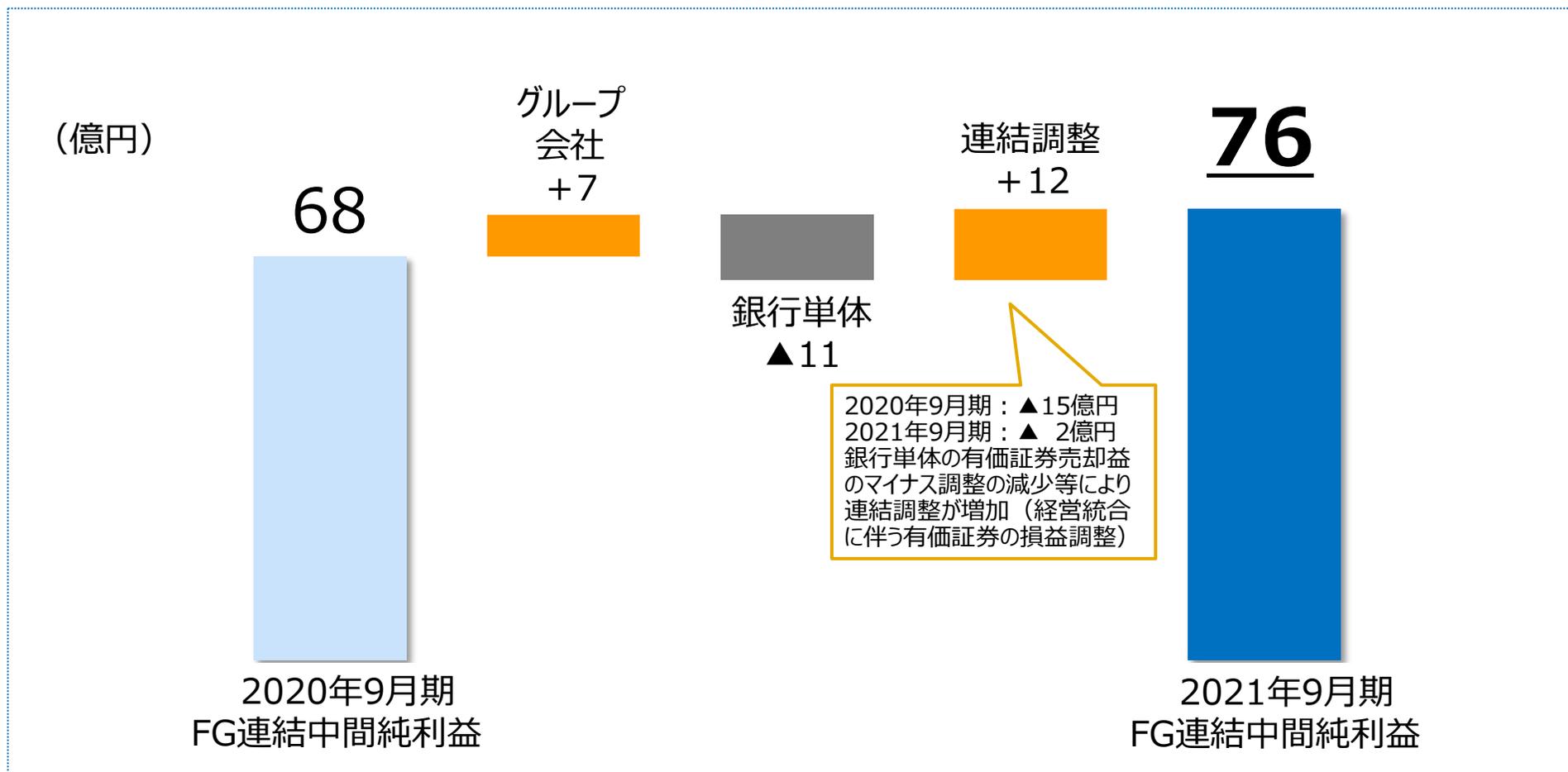
前年同期比

▲ 11億円
(▲ 16.2%)

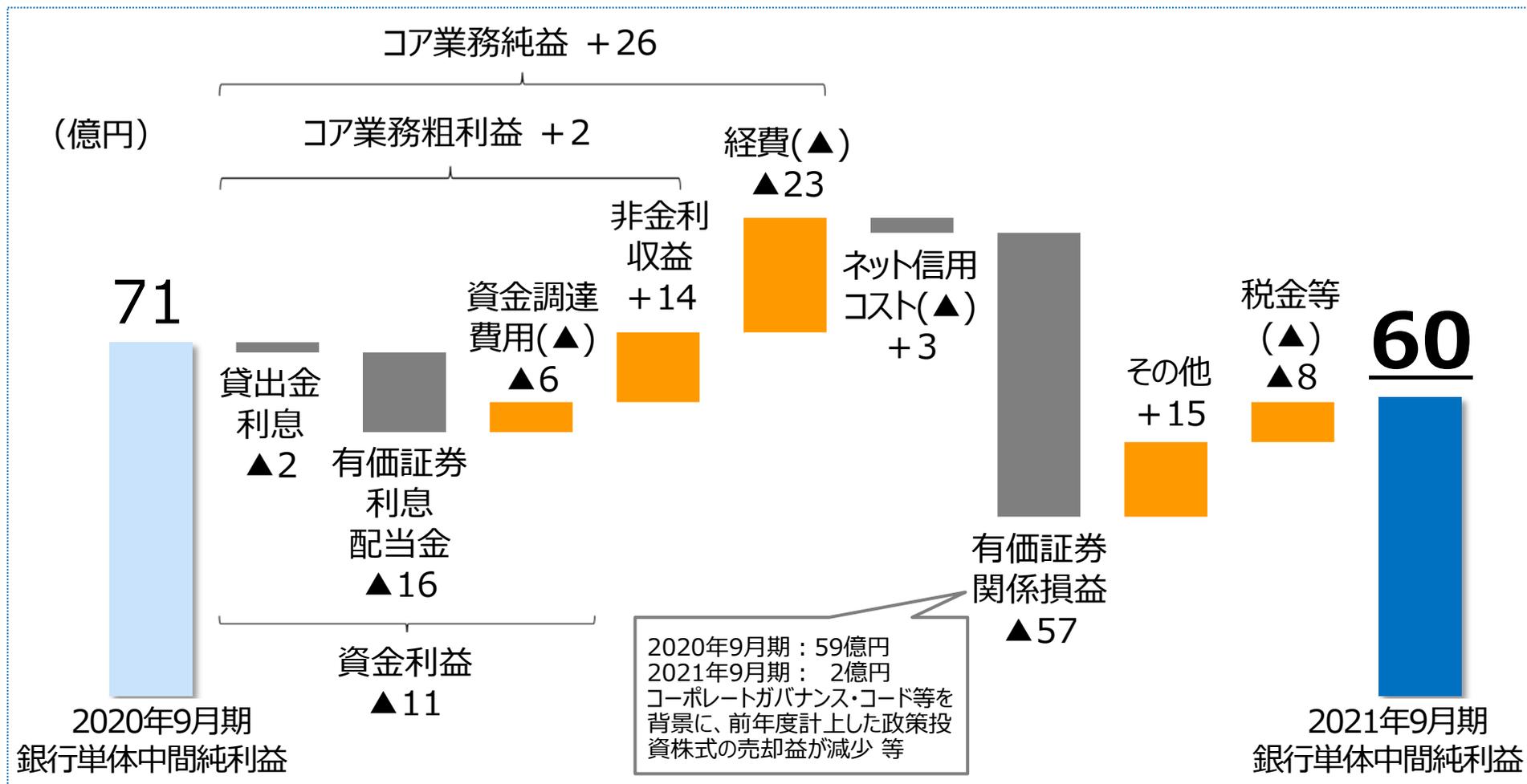
業績予想比

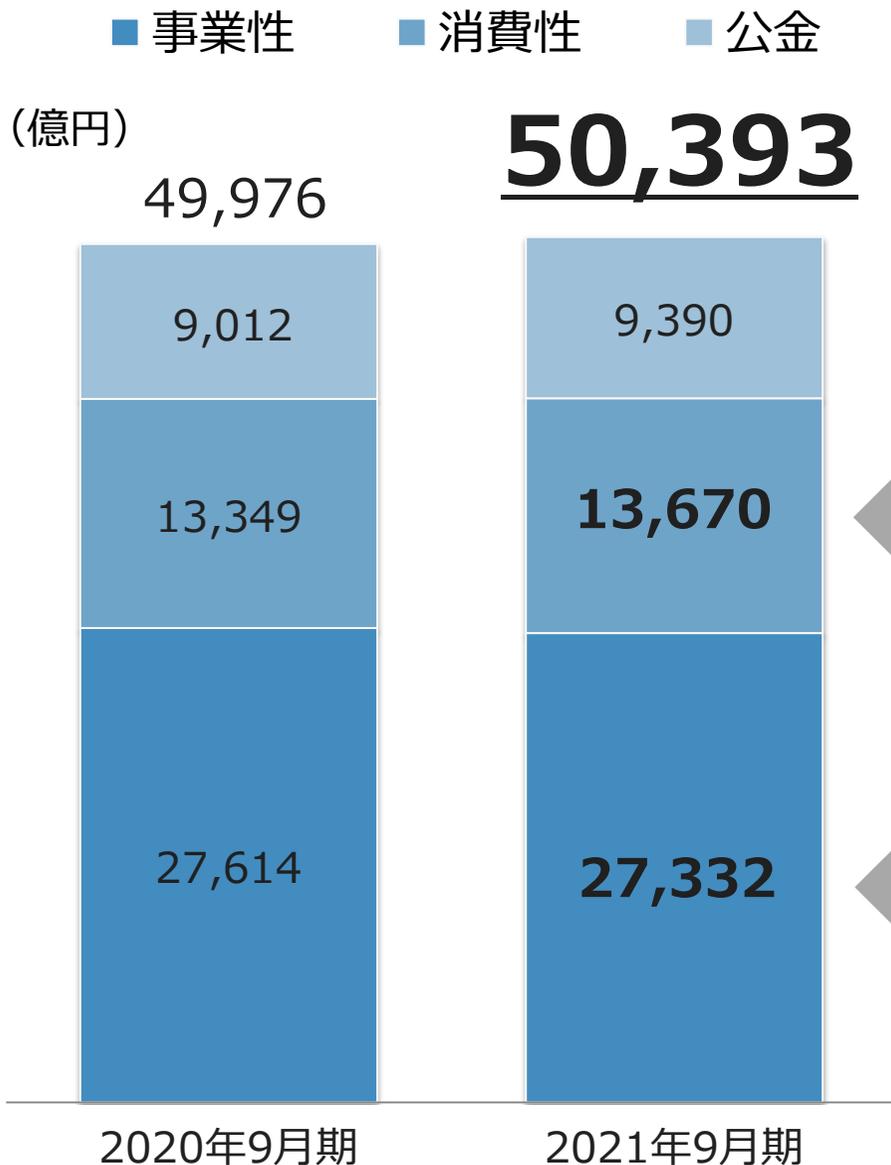
+ 18億円
(+ 42.9%)

マイナスの連結調整が減少したほか、シナジー効果により グループ会社部門が増益となり、FG連結中間純利益は増益



シナジー効果により非金利収益の増強や経費削減を実現





前年同期比

+417億円
(+0.8%)

消費性

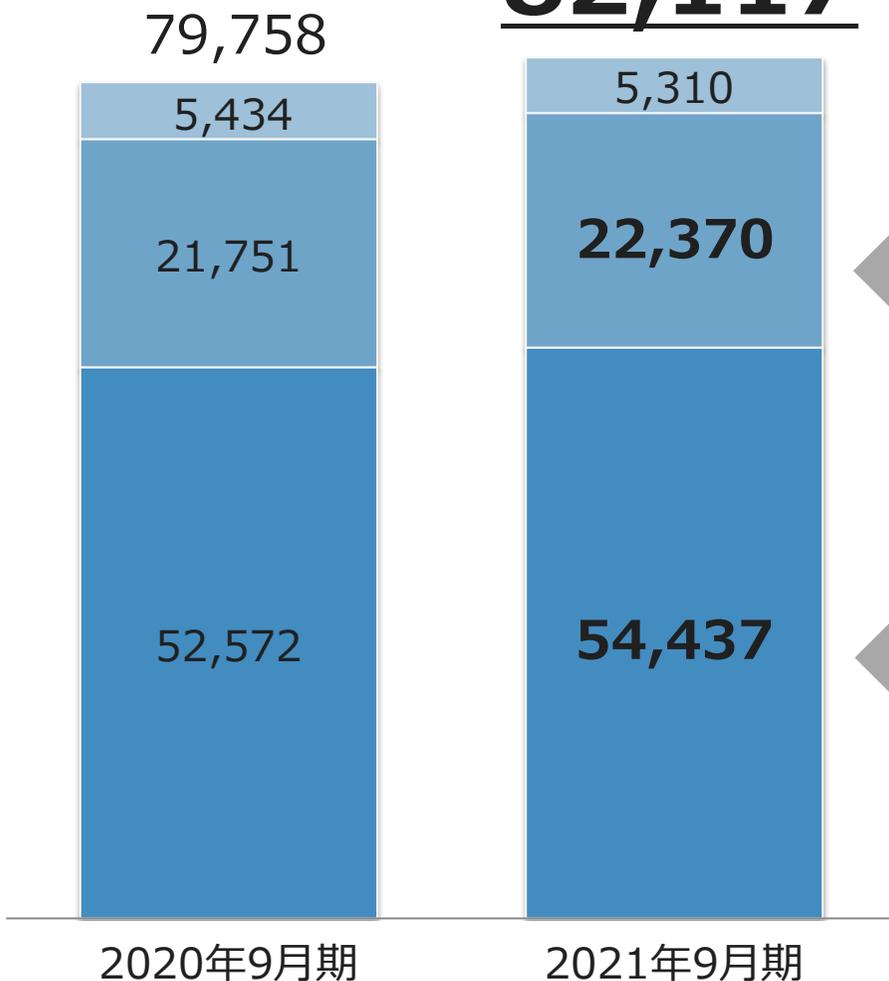
前年同期比 +321億円 (+2.4%)
- 住宅・無担保ともに順調に増加

事業性

前年同期比 ▲282億円 (▲1.0%)
- 前年の積極的な新型コロナウイルス
対応への支援の反動により微減

■ 個人 ■ 法人 ■ その他

(億円)



前年同期比

+2,359億円
(+2.9%)

法人

前年同期比+619億円 (+2.8%)

個人

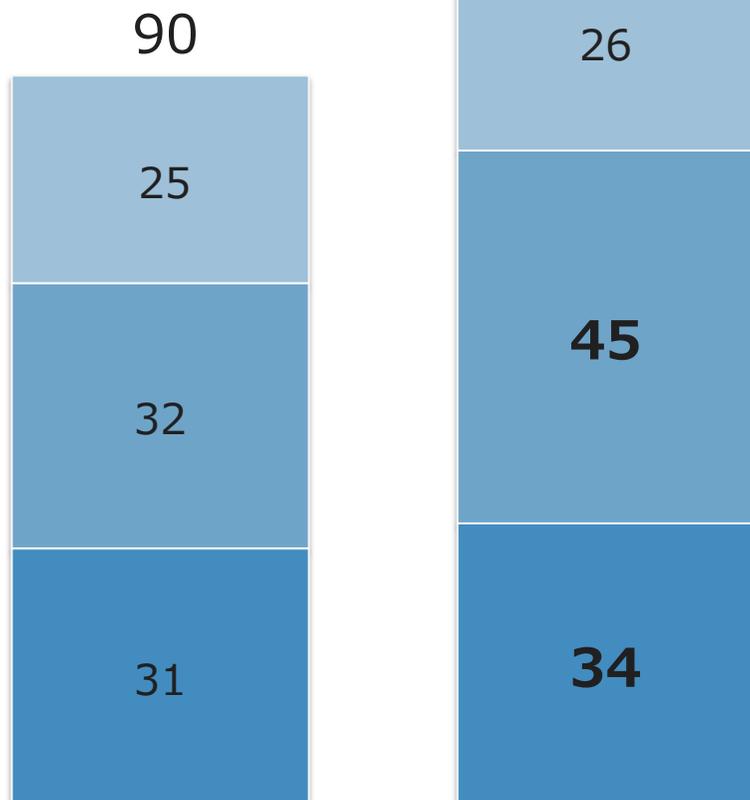
(個人事業主を含む)

前年同期比+1,864億円 (+3.5%)

- 新型コロナウイルス禍での資金調達による手元流動性の積み増し、個人消費の低調などを主因に法人・個人ともに増加

■ 資産運用アドバイス ■ 金融ソリューション ■ その他

(億円)

105

2020年9月期

2021年9月期

前年同期比

+14億円
(+16.5%)

金融ソリューション収益

前年同期比 +12億円 (+36.6%)
- デリバティブ、事業承継・M&Aが増加

資産運用アドバイス収益

前年同期比 +2億円 (+8.5%)
- 投資信託、保険が増加



M&A収益 (百万円)

前年同期比

約**3**倍

+337
+192.5%

175

512

2020年9月期

2021年9月期



グループ証券仲介収益[※] (百万円)

前年同期比

約**2**倍

+789
+83.2%

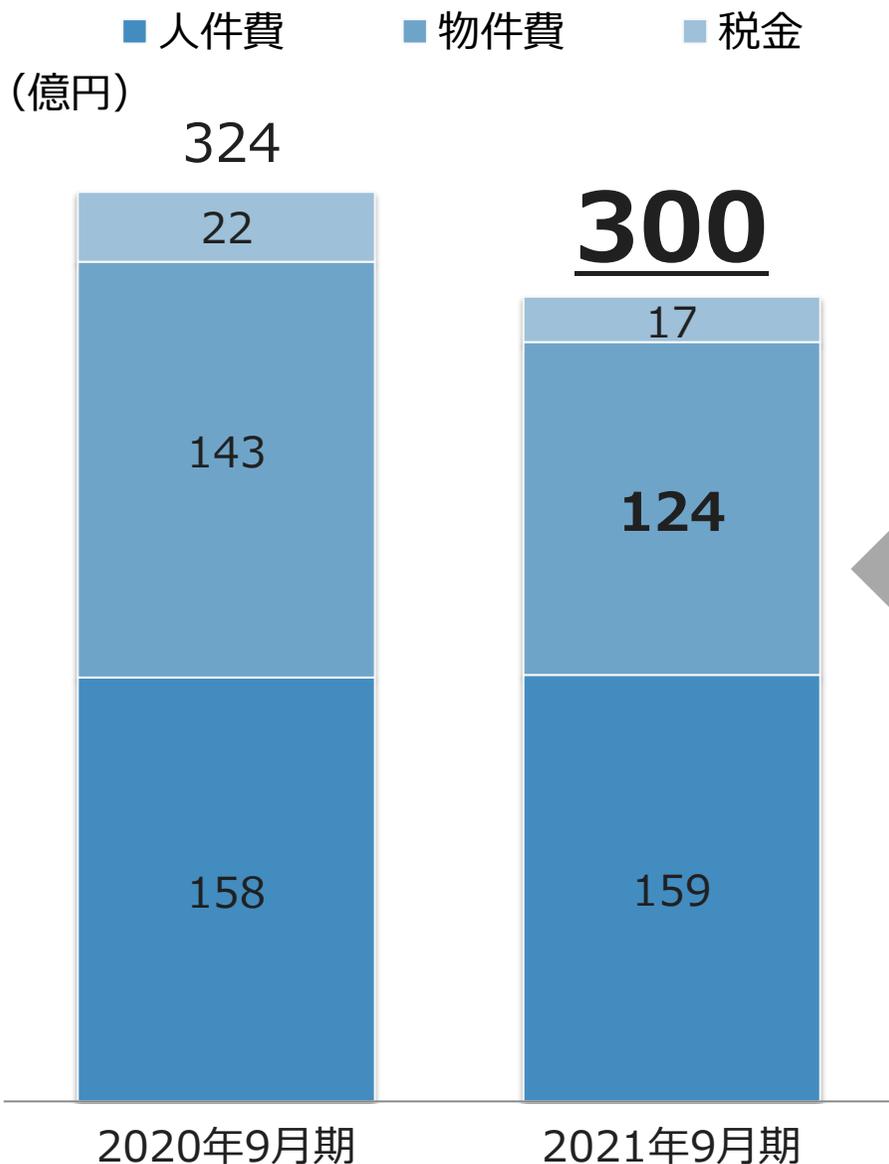
948

1,737

2020年9月期

2021年9月期

※ 銀行部門とグループ会社部門の合計



前年同期比

▲23億円
(▲7.2%)

合併
シナジー

物件費

前年同期比▲19億円 (▲13.2%)
－ 合併によりシステム関連費用が減少

■ 不良債権比率 ■ ネット信用コスト

(%)

1.73

2.04

不良債権比率

前年同期比 + 0.31pt

(億円)

32

35

ネット信用コスト

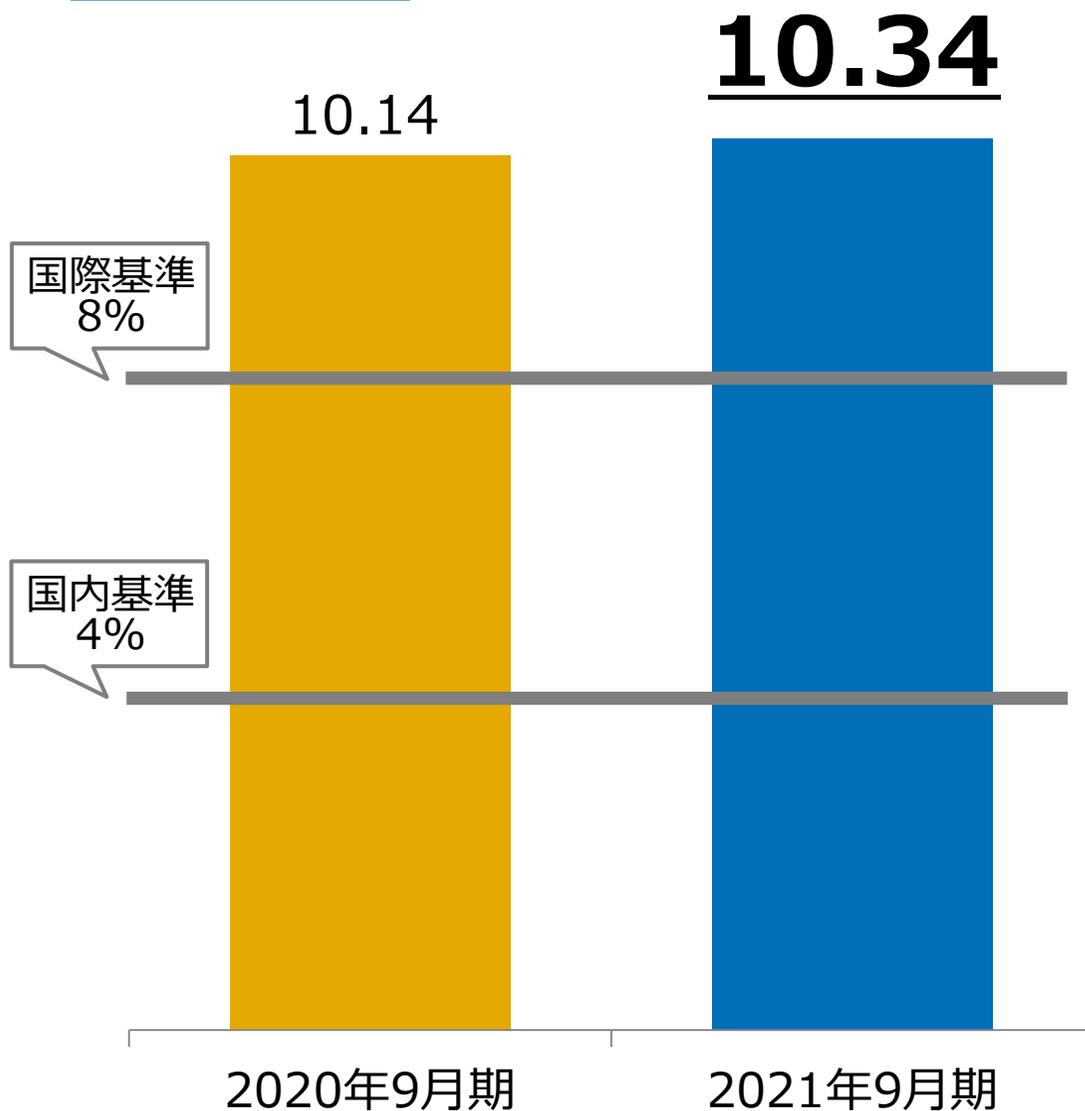
前年同期比 + 3億円

2020年9月期

2021年9月期

- 業績悪化の長期化を要因とした企業のランクダウンが県内外で発生し、前年同期比増加
- 審査部門の経営改善支援態勢を拡充し、お取引先へのご支援に注力

FG連結 (%)



前年同期比

+0.20%

単年度の経営統合によるシナジー効果は 当初計画（2018年10月策定）を上回るスピードで進捗中

経営統合前の
2017年度との比較

2021年9月期（単年度）

2021年9月期
実績

+35億円
(計画比 **+24**億円)

2021年9月期
単年度のシナジー効果
(単位：億円)

		実績	計画比
		+35	+24
	トップラインシナジー	+18	+6
	コストシナジー	+31	+10
	マイナスシナジー	▲14	+7

<各シナジー効果の内容>

トップラインシナジー

- 貸出・金融ソリューション
- 資産運用アドバイス
- 手数料分野 等

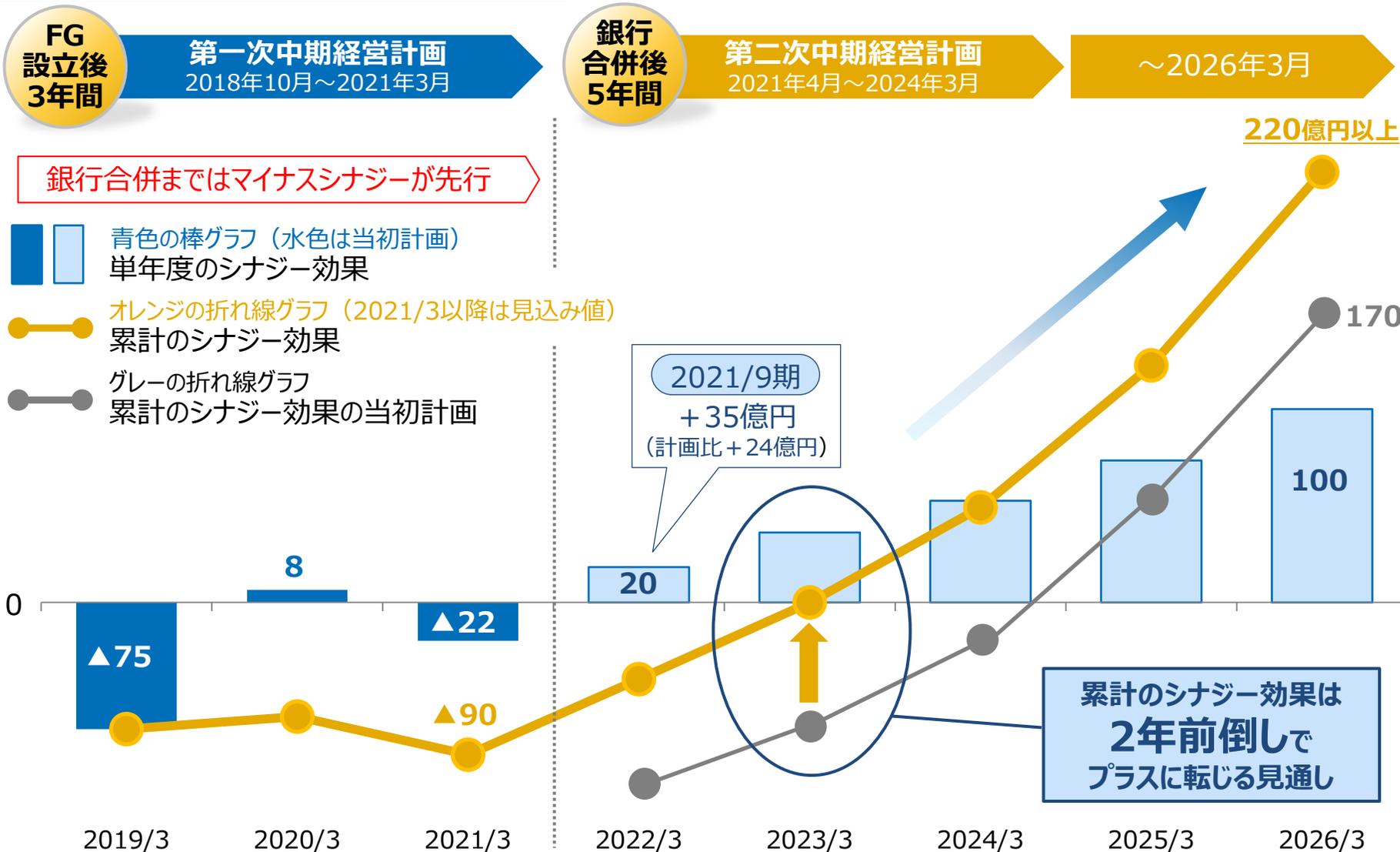
コストシナジー

- 人件費の減少
- システム事務共通化
- 委託費の減少 等

マイナスシナジー

- 経営統合関連費用

経営統合前の2017年度との比較



シナジー効果 (単位: 億円)

中間決算は5月に公表した業績予想値を上回り、**進捗率も66%超と順調に進捗**
 但し、新型コロナウイルスの影響およびエネルギー価格上昇や世界的な半導体不足による経済
 への影響などが不透明であることなどから、通期の業績予想値は、**当初公表値を据置き**

FG連結 (億円)	2022年3月期 業績予想	2021年 9月期実績	業績予想に 対する進捗率
経常利益	171	114	66.7%
当期（中間）純利益 ※	110	76	69.2%

※ 親会社株主に帰属する当期（中間）純利益

銀行単体 (億円)	2022年3月期 業績予想	2021年 9月期実績	業績予想に 対する進捗率
コア業務純益	165	113	69.0%
経常利益	125	84	67.7%
当期（中間）純利益	87	60	69.0%

中期経営計画（2021/4～2024/3）

第二次中期経営計画



第二次中期経営計画

銀行合併・新銀行誕生後

合併の成果をあげる新たなステージへ

2021年
4月

2024年
3月



最重要テーマ

シナジー効果の発揮

合併シナジー の最大化

ノウハウの共有
重複機能の整理
経営資源の再配分



グループシナジー の最大化

FGグループ会社機能の
最大限の活用



TSUBASA 連携シナジーの 最大化

地銀最大規模の
スケールメリットの活用



グループ経営資源の再配分

2021年度上半期の取り組み（2021/4～2021/9）

人員創出
 **335**名

店舗統合・
業務改革

11拠点を実施・**130**名を創出

本部スリム化 **205**名を創出



再配置人員数

225名

定年・自己都合退職及び
採用抑制等の自然減考慮
後の再配置人員数

合併シナジーの発揮 

- 銀行部門 163名
(うち、営業部門73名、中期経営計画施策対応39名 等)
- グループ会社部門 47名
- お取引先企業との人材マッチング等 15名

戦略人員増員によるコンサルティング機能の向上

営業店に常駐するコンサルティングスキルの高い本部専門人員

銀行合併前

30名

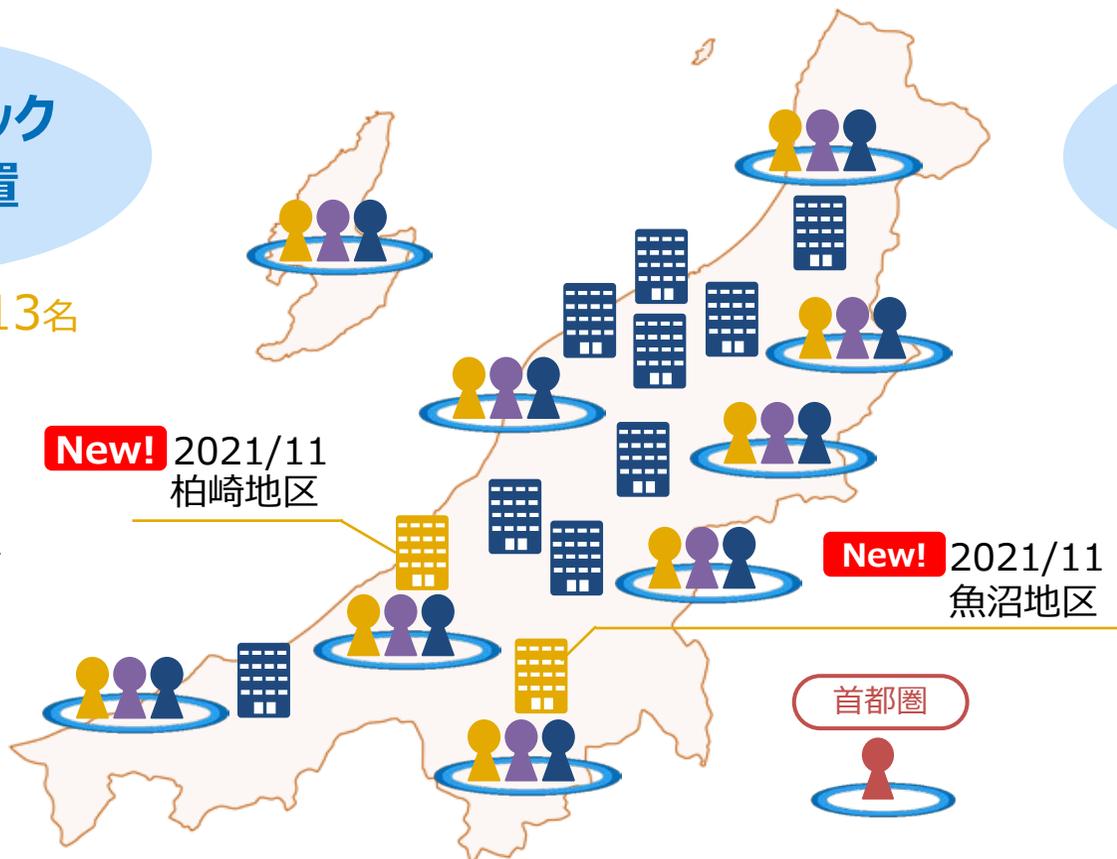
銀行合併後

70名

県内全ブロック
母店に配置

- 上級コンサルタント 13名
- 法人CM 20名
- 個人CM 32名
- 県外戦略 5名

CM : コンサルタントマネージャー



コンサルティングプラザ拡充による
お客さま利便性の向上・サービスの拡充

個人ローンの相談拠点：コンサルティングプラザの増設

銀行合併前

9 拠点

銀行合併後

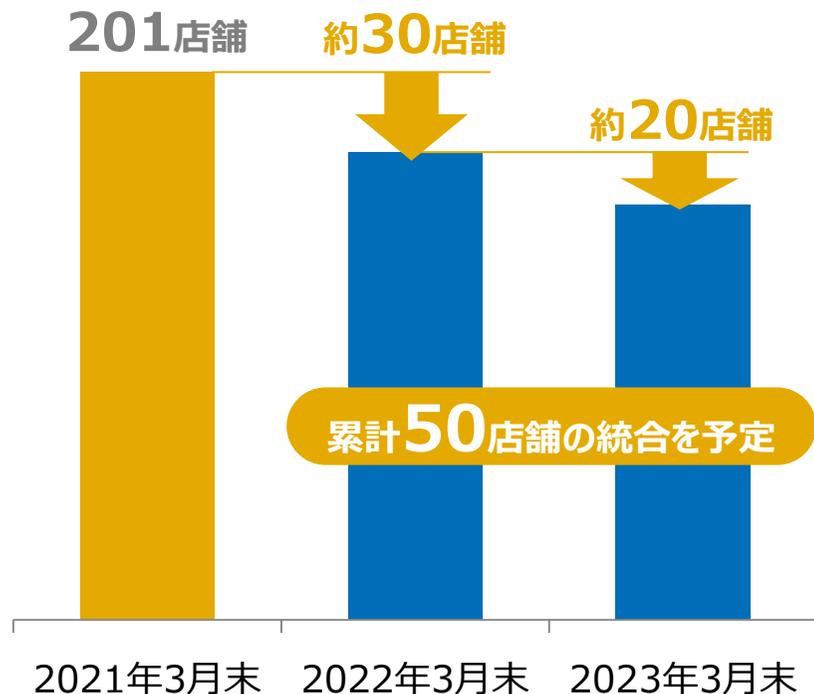
11 拠点

県内新築住宅
ローンマーケットの
9割をカバー

コンサルティングプラザ

「店舗統合」の取り組み

※ 実店舗数（店舗内店舗・インターネット支店等を除く）



2年間で
約1/4の店舗を統合

対面チャネルの強化

創出人員の
再配置を継続



トピックス

新たなコミュニケーションスペース
「第四北越 Icotto (イコット) 県庁」の開設

New! 2021/11



利用料
不要

会員登録
不要

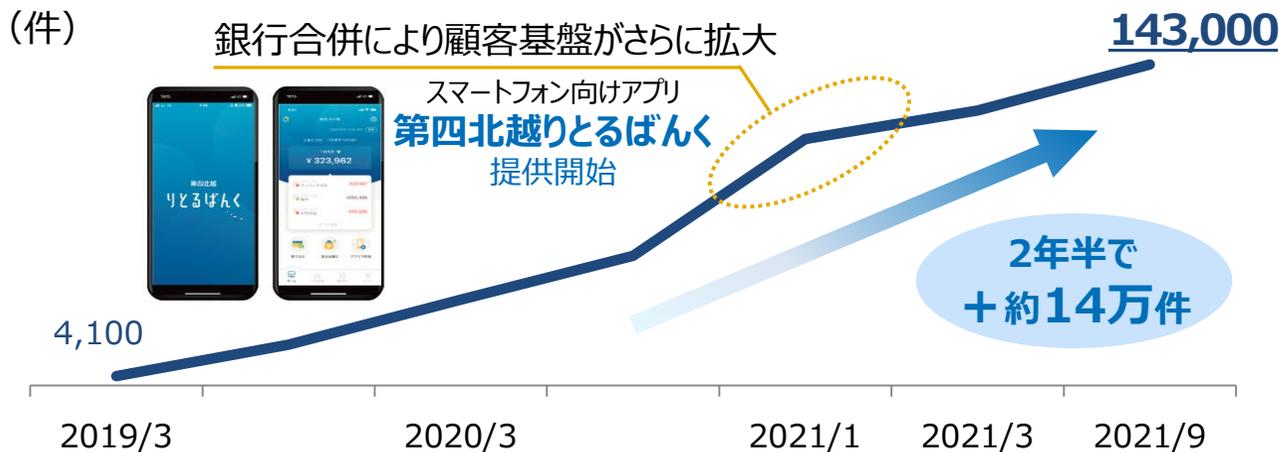
フリー
Wi-Fi
完備



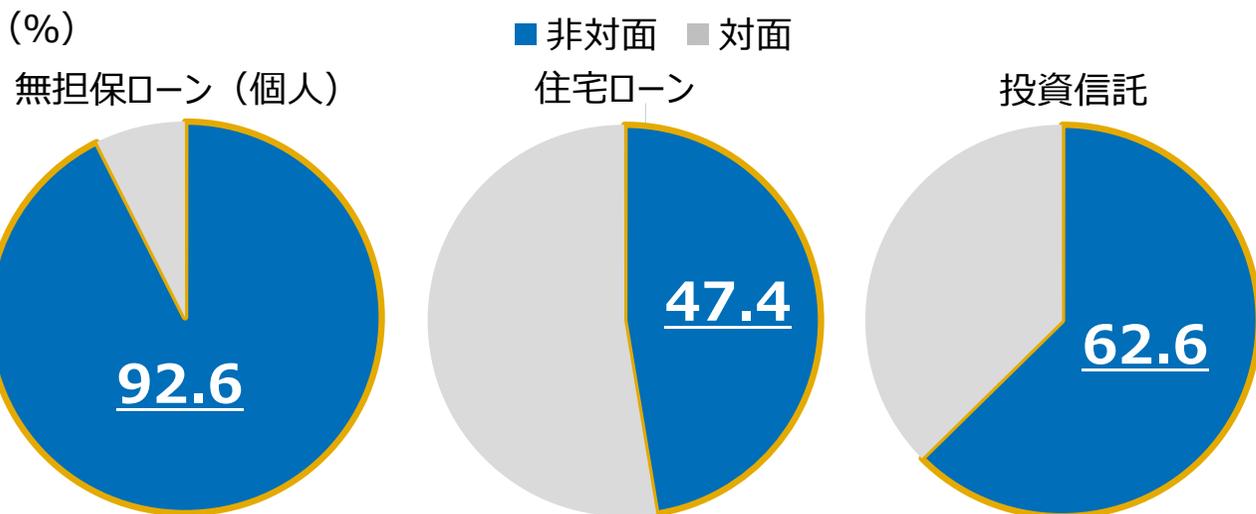
→ 店舗統合による空き店舗を活用し対面チャネルを強化

DXを通じたお客さま利便性の向上・営業の効率化

だいしほくえつID数（個人）の推移（概数）



非対面での申し込み割合（2021年度上半期）



非対面ビジネスの深化

専門人財によるコンサルティング

タブレット端末の
営業店への配置
(2021/4)



お客さまと本部担当者や
外部専門家等をつなぐなど
様々な用途で活用

お客さまとの接点増加

Web経由での
相談・面談・セミナー予約
(2021/9～)



お客さま向けセミナー
の予約方法を統一

お客さまの利便性向上

医療保険のWeb
申込スキーム導入
(2021/8)

来店
不要

投資信託口座開設の
Web申込開始
(2021/11)

24時間
申込可能

近隣店舗が連携したエリア一体営業によるノウハウの深化



近隣エリアでのM&Aマッチングが増加

営業店

従来からの強み
地域のお客さまとの
リレーション

M&A
ノウハウ

営業店長が
中心となって
マッチングを推進

 第四北越FG

第四銀行 北越銀行
経営統合により拡大した
顧客・営業基盤を活用

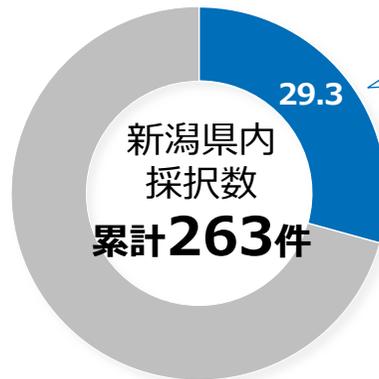
取引先の企業価値向上
地元の雇用維持等
経済発展に貢献

コンサルティング機能の拡充

ウィズコロナ・ポストコロナに向けた取引先ニーズへの対応
事業再構築補助金を活用した企業価値向上支援

<第2回公募までの採択結果>

(%)



 第四北越銀行
支援割合は
新潟県内**No.1**

お客さまセグメントに応じた資産運用・承継コンサルティング

お客さま
セグメント

営業担当者の
スキルランク

富裕層
法人オーナー層

準富裕層

資産形成層

ゴールド

シルバー

ブロンズ

本部
サポート

個人
CM

信託業務取扱店
拡大

新潟県内営業店

+

New!

新潟県外営業店

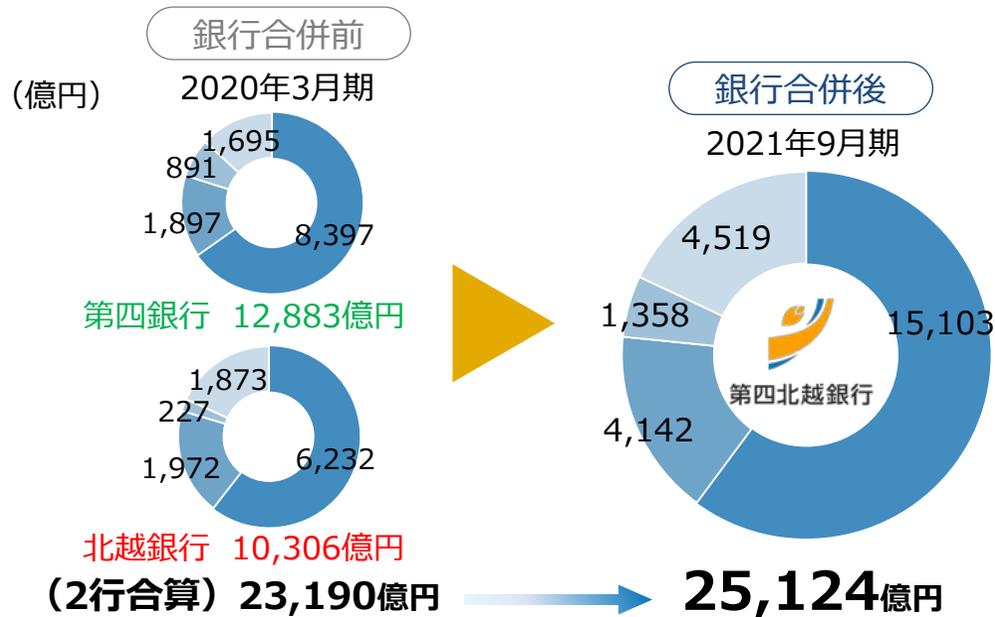
コンサルティングプラザ

有価証券運用の高度化・多様化

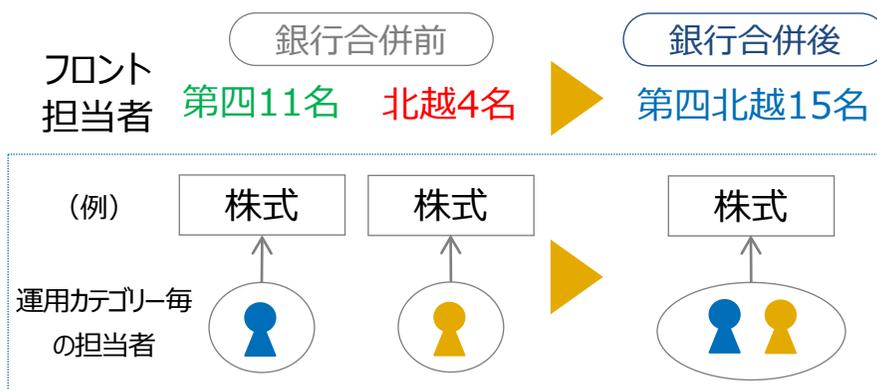
合併シナジーの発揮と収益力強化に向けた取り組み

運用規模拡大によるスケールメリットの享受

<有価証券残高（末残）> ■国内債券 ■外国証券 ■株式 ■其他証券



運用担当者集約によるノウハウの共有とスキルの向上

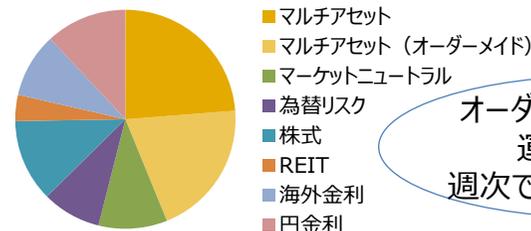


新たな戦略投資枠の取り組み

→ 株式・REIT・マルチアセット・オプション取引等による総合収益の追求

(2021年度上半期) 運用平残：1,583億円
総合利回り：2.2% (計画比+0.7%)

<新たな戦略投資枠の構成>



オーダーメイド型投信の運用会社とは週次でミーティングを実施

意識統合に向けた取り組み

意識統合・ベクトルの統一

経営陣と職員との対話

経営理念・中期経営計画の浸透に向けた説明会

約4,700名が参加

管理職向け頭取説明会

約300名が参加

シナジー発揮に向けた土台構築

役員との対話交流会

のべ約200会場

約4,000名が参加



融和促進に向けた人事異動

銀行合併時からの人事異動 (~2021/9)

全行員の約3割の人員数

約1,100名の人事異動を実施



第四・北越両行行員の営業店の混在状況



コンサルティング機能の発揮に向けた人財育成 - 実践力の向上 -

合併・システム事務統合と並行して進めた
人財育成・コンサルティング能力の向上が着実に進展

第一次中期経営計画

マーケット別研修 × 営業担当者向け研修 × 営業店長向け研修 等

第二次中期経営計画

- ✓ コンサルティング能力の育成・強化
- ✓ グループシナジー発揮に向けた人財の強化
- ✓ 金融デジタル人財の育成
- ✓ 女性職員の戦略的人財育成 等

新人事制度の定着・浸透

生産性向上と従業員満足度の両立に向けて求められている要素

プロフェッショナル人材育成

マネジメント改革

働き方改革

ダイバーシティ

銀行合併と同時に新たな人事制度をスタート

コンサルティング能力の向上に向けた視点



第四北越銀行 新人事制度の考え方

制度の基本方針

- ① 公正な評価
- ② 評価基準の明確化と成長支援
- ③ 多様な人財基盤の構築
- ④ 組織融和の促進
- ⑤ 人件費の適正化

コンサルティング能力
の発揮

多様なキャリア形成
・リモートワーク

成果と育成重視

多様性の尊重

エキスパート（専門人財役職）制度の新設

2021/10より
登用開始

個人営業4名、法人営業1名
戦略・マネジメント1名 合計6名



対象とする専門分野

個人営業

富裕層コンサルティング

法人営業

金融ソリューション・ファイナンス
事業承継・M&A、事業再生

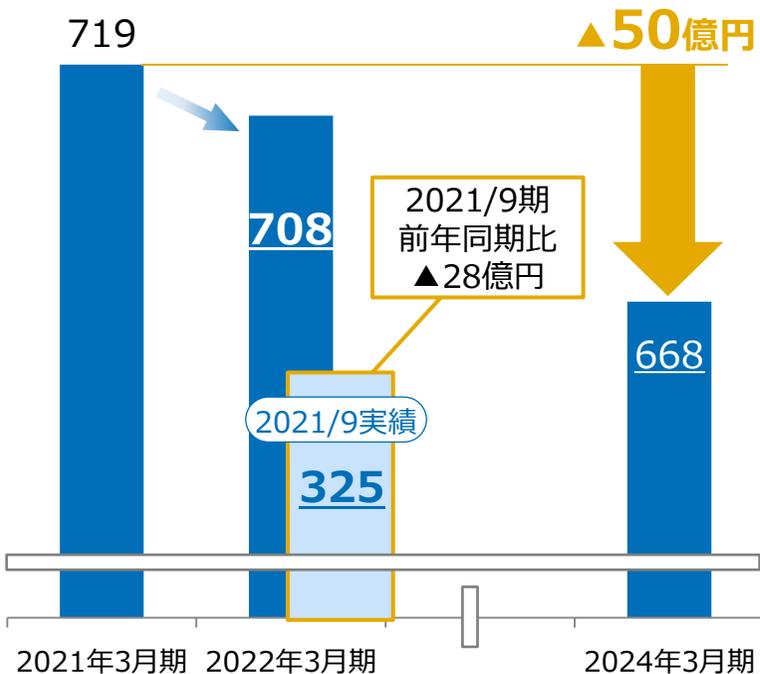
戦略・
マネジメント

市場運用、IT・システム
データ解析・マーケティング
リスク管理

合併シナジーの最大発揮・徹底したコスト管理・人員適正化

FG連結営業経費

(億円)



増減要因 (2021/3→2024/3)

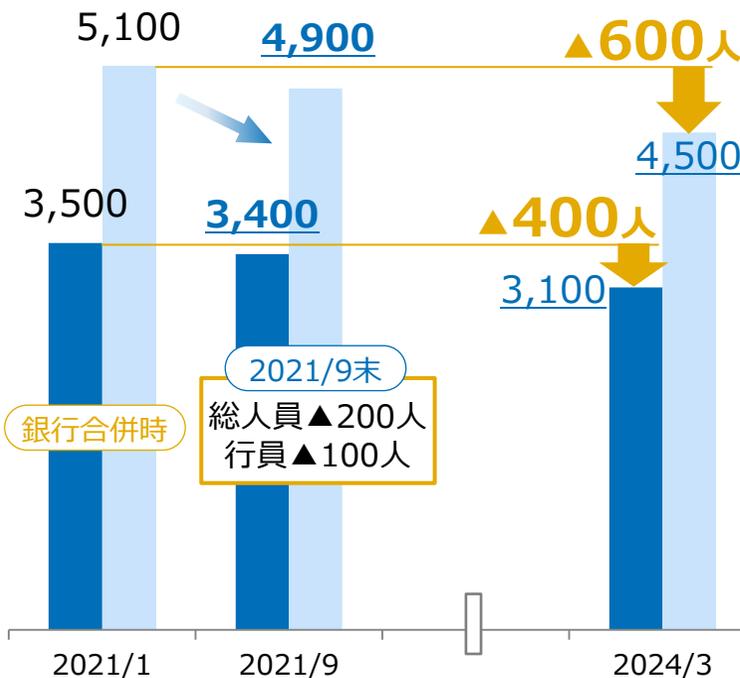
銀行部門

経費▲57億円
人件費▲26億円
物件費▲25億円

グループ会社部門 +8億円
人件費の増加等

総人員の推移 (概数)

(人) ■行員 ■総人員 (スタッフ等含む)



再配置人員の状況 (2021/9)

再配置人員数



225名 詳細P20

戦略的分野へ投資

DX投資

顧客利便性向上

FG企業価値向上



戦略的分野へ人員再配置

地域経済の課題解決

金融・情報仲介機能の発揮

「新・構造改革」による徹底した生産性の向上

ミドルオフィスへの業務集約

営業店後方事務の集約
(2021年9月期)

累計 **108**カ店
(全店舗の約**5割**)

(2022年3月期計画)

累計 **157**カ店
(同約**7.5割**)



創出人員の
再配置を継続



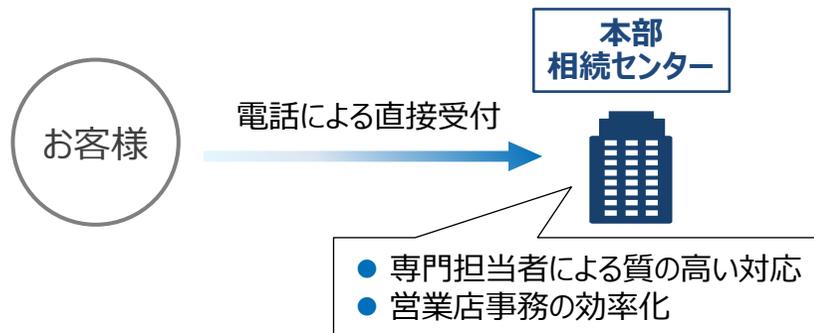
ニーズが高まる相続マーケットへの取り組み
相続業務の集約 (2021/11~)

相続対応・事務の集約
(2021年11月)

累計 **30**カ店
(全店舗の約**1.5割**)

(2022年3月期計画)

累計 **52**カ店
(同約**2.5割**)



RPAを活用した業務削減

累計
約 **8**万時間

導入時 (2017年) ~
2021年11月までの累計

今後の予定

✓ RPAの更なる活用による
事務プロセスの抜本的変
革への取り組み

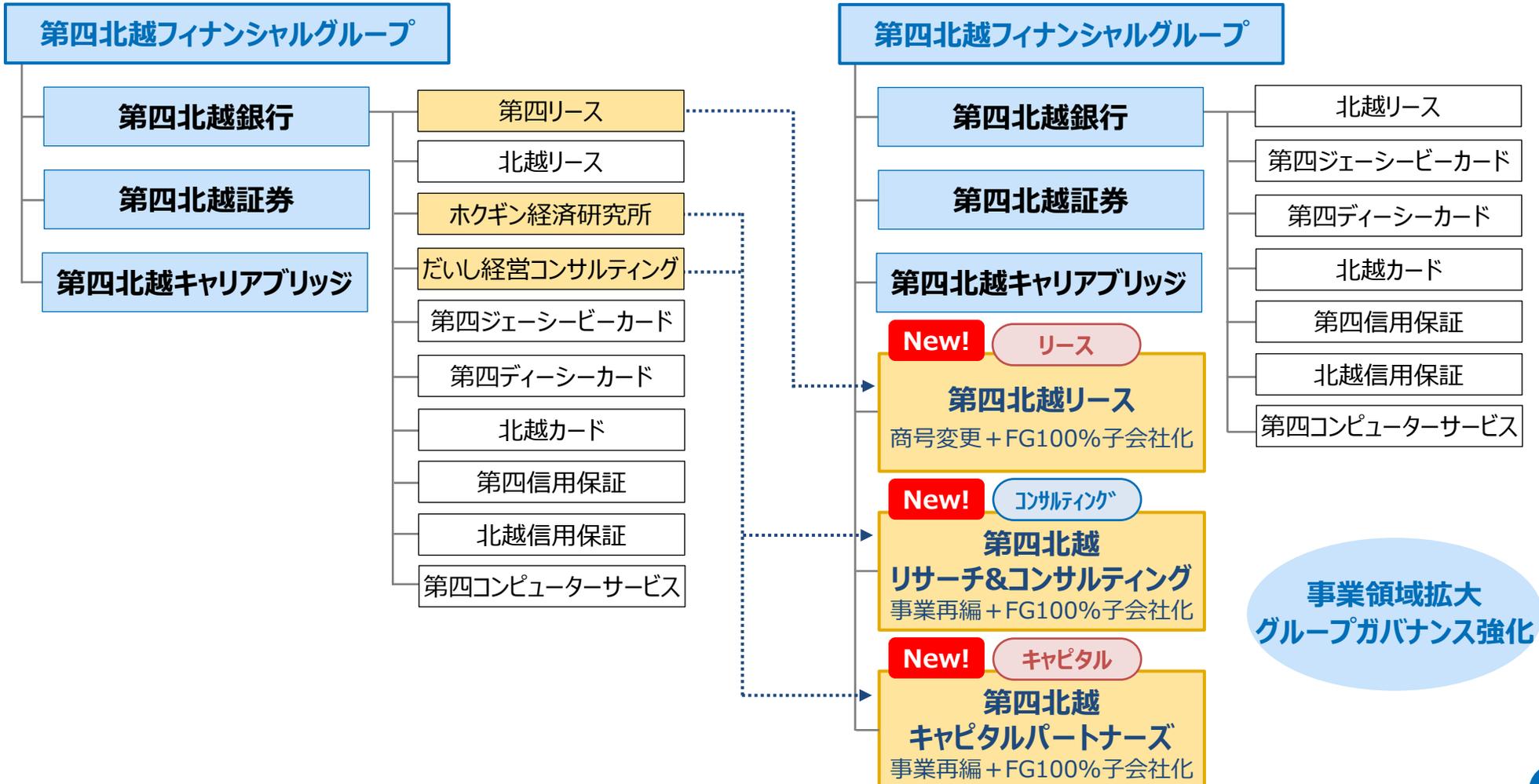
グループ機能の最大限の活用



コンサルティング機能発揮に向けたグループ再編・事業領域の拡大

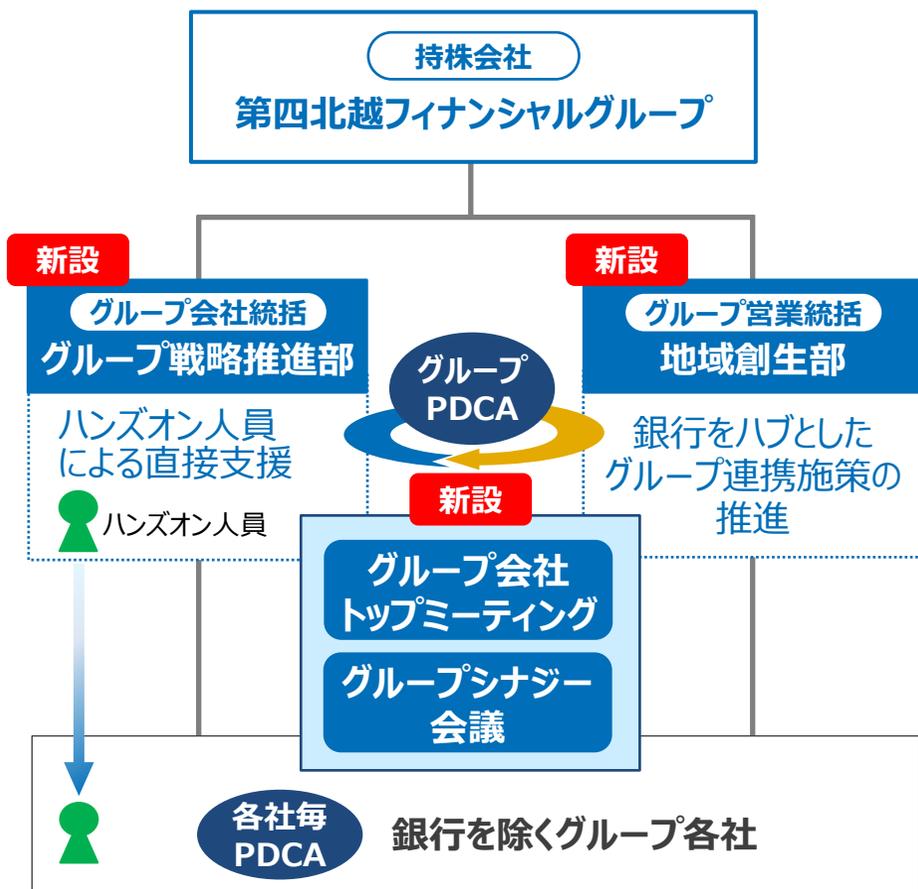
～2021/9

2021/10～



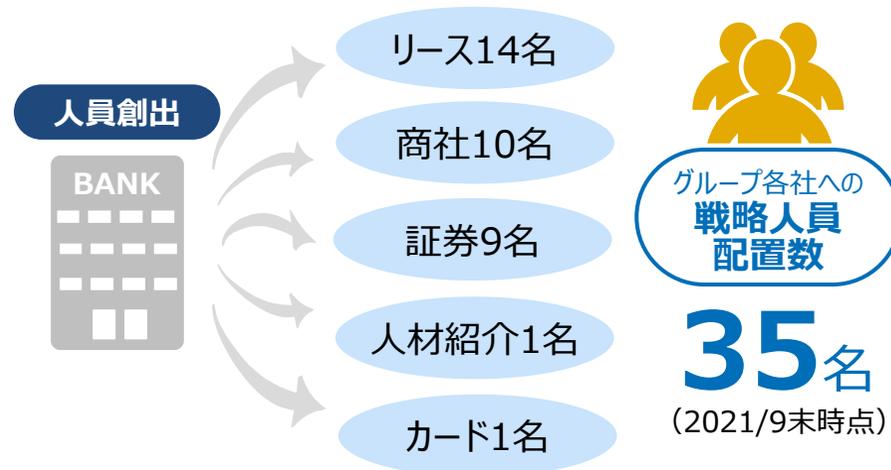
重層的なガバナンス態勢の構築

ガバナンス態勢強化によるグループ一体となったPDCA



グループ経営資源の再配分等による連携強化

戦略人員増員によるコンサルティング機能の向上



グループ連携強化に向けた取り組み

- 銀行でリースの「媒介業務」を開始（2021/11）
- お客さま・グループ職員向けにグループ各社の機能・サービスを紹介した冊子を発刊
- 「グループシナジー研修会」の開催
→グループ各社機能の理解を深め、ワンストップでお客さまへの付加価値を提供する体制を構築





地域商社「ブリッジにいがた」

販路開拓事業

アンテナショップ ブリッジにいがた

<店舗での取扱商材数>



自社ECサイトの本格稼働

- 2021年度上期に県産品を紹介する**ECサイト**を本格稼働



▲東京都中央区
日本橋室町1-6-5
だいし東京ビル1階

観光振興事業

- 多言語翻訳ツールの提供
- 各種団体に対する観光振興策の提案・共同実施 等

生産性向上事業

業務効率化コンサルティング・ITツール導入支援

- RPA導入支援
- ペーパーレス化支援
- 入金消込システム
- 勤怠管理システム導入支援 等

トピックス

新潟県「DX推進意識改革支援業務」の受託
(2021年6月)

- ✓ ITリテラシー向上研修
- ✓ DX推進責任者育成研修
- ✓ IT関連企業と県内企業のマッチング

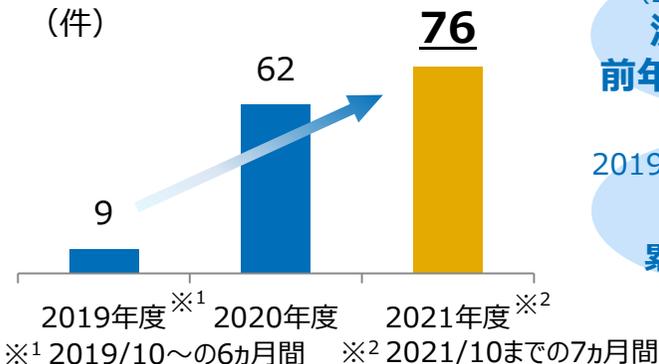
人材紹介会社「第四北越キャリアブリッジ」

人材マッチング事業

- 人材紹介業務
- 人材マッチングサポート
- 兼業・副業人材マッチングサポート



<決定（採用・内定）件数の推移>
(件)



(2021/10時点)
決定件数は
前年実績を上回る

2019/9～2021/10まで
相談件数
累計約1千件

人材育成ソリューション事業

- 県内企業の人材育成に向けたセミナーをFGグループ企業と共催で開催
- ニューノーマルに対応し、各種オンラインセミナーを開催



第四北越フィナンシャルグループ 2021年度
『人財』育成
サポートプログラムのご案内
組織力強化のための
8講座
目的別9講座
をご用意
各階層・役割に必要な
ビジネスマインド
ビジネススキルの向上を目指します

地方銀行広域連携の枠組み



TSUBASA
ALLIANCE

参加行数

10行

(2021年9月末時点)

参加行の
総資産残高合計

90兆円超

(2021年9月期連結ベース)

第四北越銀行
連携施策によるシナジー効果

2015年10月～2021年9月まで

累計**65**億円

北洋銀行

第四北越銀行

滋賀銀行

中国銀行

琉球銀行

伊予銀行

すべてを地域のために
東邦銀行

群馬銀行

千葉銀行

武蔵野銀行

■ 本店所在地

■ 店舗所在地

新たな事業領域の拡大

2015年 **TSUBASAアライアンス発足** (2015年10月)
● 当行・千葉・中国の3行で発足

2016年
● T&Iイノベーションセンター設立
● 相続関連業務提携

2017年 ● 基幹系システム共同化

2018年
● 事務部門共同化合意 (当行・千葉)
● TSUBASA FinTech共通基盤稼働
● TSUBASA Smile導入

2019年
● SDGs宣言
● M&A広域連携

2020年
● 為替デリバティブ分野業務提携 (当行・東邦)
● TSUBASA アライアンス(株)設立

2021年
● (株)オンアドの設立合意 (当行・千葉・中国)
● TSUBASAアライアンス(株)に事業戦略部新設

「株式会社オンアド」の設立

リモートでの金融コンサルティングサービス提供

特徴: 「中立性」「リモート完結」「アドバイスに特化」
リモート面談によるアドバイスの提供
専属アドバイザーが対応



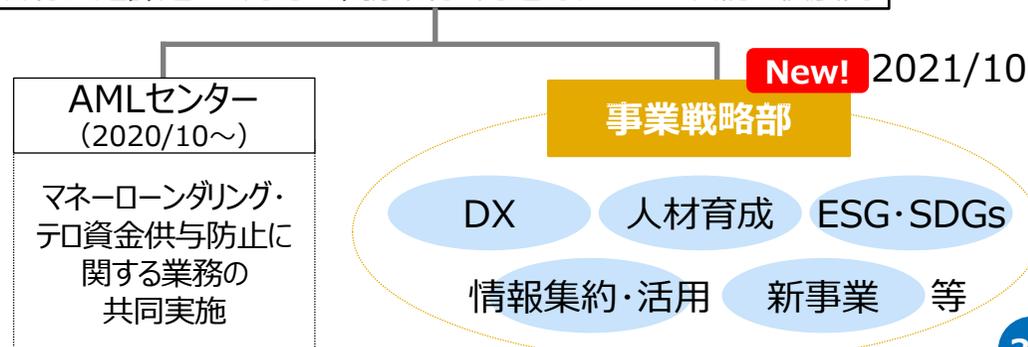
ライフプランシミュレーションによる有料アドバイス

資産運用 相続・信託 保険 ローン 等

→ **会社設立** 2022年1月 **事業開始** 2022年4月

「事業戦略部」の新設

TSUBASAアライアンス株式会社 (2020年7月)
各行共通課題への対応、業務集約、先進的サービス・機能の横展開



環境・社会・ガバナンス

ESGの取り組み

E 環境 Environment

「サステナビリティ・リンク・ファイナンス」および
「サステナビリティ・ファイナンス」の取り扱い開始
(2021年8月)



「第四北越SDGsコンサルティングサービス」の
取り扱い開始 (2021年9月)



SDGsの取り組み
状況診断

SDGs宣言
策定支援



TSUBASAアライアンスの枠組みを
活用した取り組み

バイオマス発電事業向けプロジェクトファイナンスの取り組み
(2021年8月)



＜プロジェクトファイナンスの概要＞

アレンジャー	第四北越銀行 三井住友信託銀行
貸付人	第四北越銀行 三井住友信託銀行 千葉銀行 中国銀行 伊予銀行 東邦銀行 北洋銀行 武蔵野銀行 滋賀銀行 ほか

総額
280億円

TSUBASAアライアンス
の参加行8行が参加



新潟県北蒲原郡聖籠町での
バイオマス発電事業

→ 2024/10
新潟県内有数となる大規模発電施設の
商業運転を開始予定



環境

nvironment



環境省に採択された3事業 (2021年度)



環境省「TCFD提言に沿った気候リスク・機会のシナリオ分析パイロットプログラム支援事業」の参加金融機関として採択 (2021年9月)

→ TCFD提言に沿った気候リスク・機会のシナリオ分析等を検討中



環境省「令和3年度ESG地域金融促進事業」の支援先機関として採択 (2021年7月)

→ 当行・千葉銀行・北洋銀行の3行共同で、食産業におけるESG課題に対するアプローチ手法や事業性評価のモデル化を検討中



【リース事業】環境省「ESGリース促進事業」の指定リース事業者として採択 (2021年6月)

→ 同社を通じて基準を満たす脱炭素機器を導入いただくことで、お客さまはリース料の低減を図ることが可能

S 社会 ociety



DAISHI HOKUETSU
Financial Group
第四北越フィナンシャルグループ
にいがた食のきずなプロジェクト

新型コロナウイルス感染拡大の影響が長期化するなか、食品を必要としている世帯への支援を目的に、当社および当社グループ会社が始めたプロジェクト

第1弾

— 新型コロナウイルスの影響を受けている団体などをご支援—
寄付型私募債「SDGs私募債」の取り扱い

第2弾

新型コロナウイルスの影響を受けている世帯への
食品寄付の取り組み

『食のきずな』応援私募債
(2020年11月～2021年6月)

ご発行企業数 **116社**

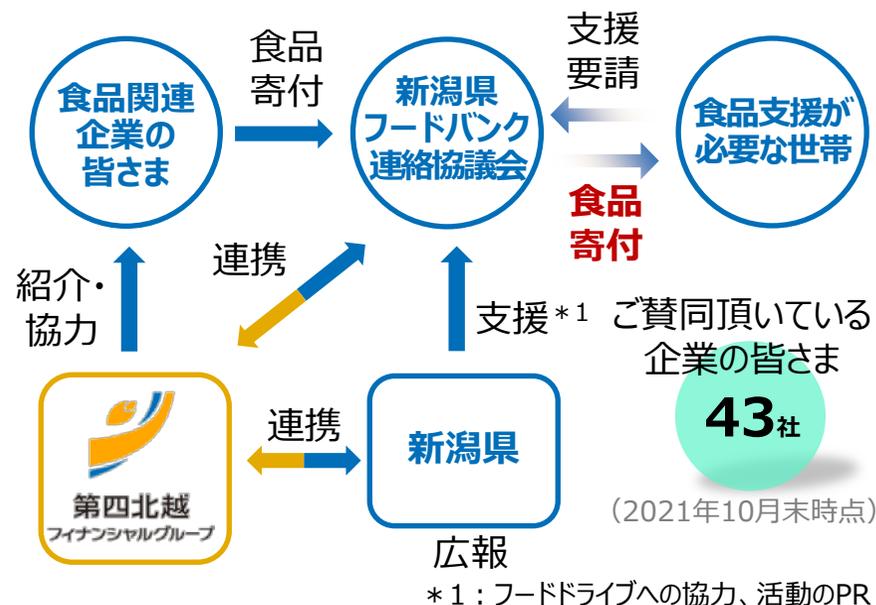


『食・職のきずな』応援私募債
(2021年7月～2021年12月)

ご発行企業数 **39社**



寄付額の累計約 **13**百万円





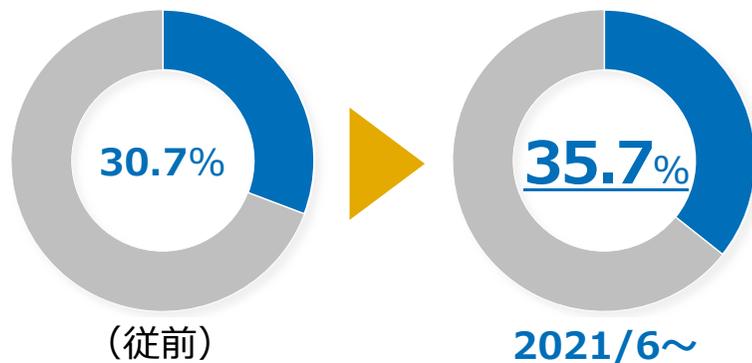
ガバナンス
Governance

16 平和と公正を
すべての人に



コーポレートガバナンス体制の一層の強化に向けた 社外取締役の増員

取締役会における社外取締役の構成割合



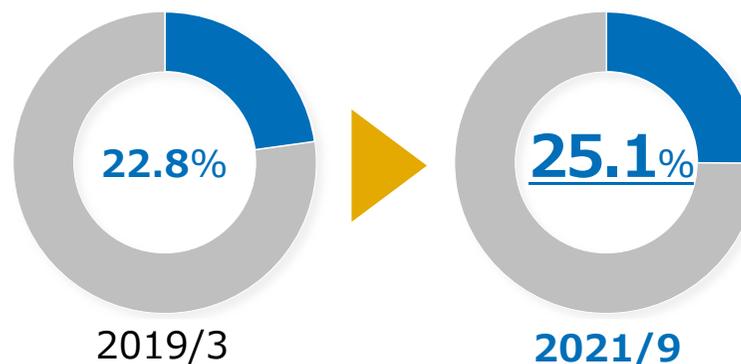
独立社外取締役の専門性

財務会計 法律 企業経営 経営理論 地域行政



ダイバーシティの取り組み - 女性活躍促進に向けた取り組み

女性管理職比率（代理級以上）の向上



「プラチナくるみん」および「えるぼし認定段階3」の取得



資本政策



株主還元方針

金融グループの公共性に鑑み、将来にわたって株主各位に報いていくために、
収益基盤の強化に向けた内部留保の充実を考慮しつつ、
安定的な株主還元を継続することを基本方針といたします。

- 配当金と自己株式取得合計の株主還元率40%を目処といたします。
- 当期純利益の増強を基本として、ROE向上に取り組んでいく方針であり、中長期的に5%以上を目指します。

2022年3月期 配当金予想



これまでの株主還元の実績

	1株当たり 配当額(年額)	配当性向	株主還元率
2019/3期	期末 60円 中間 第四銀行 45円 北越銀行 30円	35.0%	※ ¹ 42.0%
2020/3期	120円	42.5%	42.5%
2021/3期	120円	50.7%	50.7%

※1：両行の連結当期純利益の合算値を分母として算出。2019年2月～3月にかけて自己株式取得を実施済（取得価額999,689,000円）

第二次中期経営計画

第四北越フィナンシャルグループ全職員の合言葉

志を共に
一
心
結ぶ

Appendix



経営指標		2020年9月期 実績	2021年9月期 実績	前年同期比	2022年3月期 年間目標
収益力の 強化	連結当期（中間）純利益 ^{*1}	68億円	76億円	8億円	110億円
グループの 成長性	中小企業向け貸出平残増加率 ^{*2}	1.4%	▲2.9%	▲4.3%	0.3%
	中小企業向け貸出平残	19,389億円	18,841億円	▲548億円	19,467億円
	消費性貸出平残増加率 ^{*2}	2.4%	1.8%	▲0.6%	2.5%
	消費性貸出平残	13,237億円	13,564億円	327億円	13,665億円
	非金利収益増加率 ^{*3}	▲13.1%	21.0%	34.1%	20.9%
	非金利収益	90億円	105億円	14億円	215億円
	グループ会社収益増加率 ^{*4}	49.2%	59.3%	10.0%	25.8%
	グループ会社収益	11億円	18億円	7億円	36億円
経営の 効率化	OHR（連結）	81.4%	73.4%	▲8.0%	77.2%
	ROE（連結）	1.7%	1.7%	0.0%	2.6%
健全性の 維持・向上	連結自己資本比率	10.14%	10.34%	0.20%	9.9%以上

*1：親会社株主に帰属する当期（中間）純利益

*2：部分直接償却前の年間（中間）平均残高

*3：役員取引等利益及び国債等債券損益を除くその他業務利益の合計額（算出方法の変更に伴い、過年度との比較の観点から、過去に遡り変更した計数と比較した数値）

*4：持株会社および銀行を除くグループ各社の親会社株主に帰属する当期（中間）純利益の合計

ポートフォリオ変革の深化に向けた6指標

〈銀行部門〉
コア業務粗利益に占める
「貸出金利息」と「非金利収益」の比率を高める



〈グループ会社部門〉
連結当期純利益に占める
「グループ会社収益」の比率を高める

ポートフォリオ変革の深化に向けた6指標	2020年9月期 実績	2021年9月期 実績	前年同期比	2022年3月期 年間目標
①総貸出に占める中小企業貸出比率	38.8%	37.8%	▲1.0%	38.9%
②総貸出に占める消費性貸出比率	26.5%	27.2%	0.7%	27.3%
③消費性貸出に占める無担保ローン比率	8.5%	8.5%	0.0%	8.4%
④コア業務粗利益に占める 資産運用アドバイス収益比率	7.6%	8.2%	0.6%	10.9%
⑤コア業務粗利益に占める 金融ソリューション収益比率	8.0%	10.9%	2.9%	11.1%
⑥連単倍率 (FG連結当期純利益÷銀行単体当期純利益)	0.94倍	1.26倍	0.32倍	1.10倍

地域への貢献に関する評価指標		2021年9月期 実績	目標比
地域への貢献度合いを測る最重要目標	第四北越銀行をメインバンクとしてお取引いただいている企業数	15,592先	+446先
地域経済を牽引する担い手の維持・増加	創業・第二創業に関与した件数	800件	▲25件
	事業承継を支援した先数	845先	+35先
企業の付加価値向上支援	事業性評価に基づく融資先数	5,373先	+231先
	事業性評価に基づく融資残高	11,669億円	+14億円
	経営者保証に関するガイドラインの活用先数	6,934先	▲431先
	経営指標等が改善した取引先数	9,751先	+4,531先
	本業支援件数	1,625件	+308件
	経営改善計画の策定支援件数	240件	+65件
事業領域の拡大による新たな価値提供	地域商社を通じた活動 販路開拓支援先数（累計）	432先	▲6先
	地域商社を通じた活動 生産性向上支援に向けたFG連携活動件数（累計）	25件	+4件
	人材紹介会社を通じた活動 企業の課題解決につながる人材マッチング件数（累計）	42件	+12件

2021年9月期決算 概要 (損益の状況)

- FG連結の経常利益、中間純利益のいずれも2021年5月公表の業績予想値および前年実績を上回る

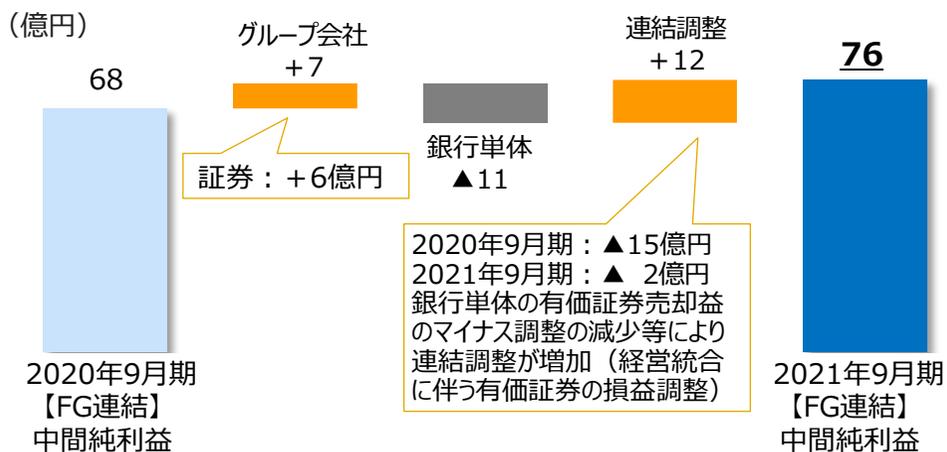
FG連結 (億円)	2021年9月期 決算		業績予想 (2021/5公表)	
	前年同期比	業績予想比	前年同期比	業績予想比
1 経常利益	114	5	82	32
2 中間純利益※ ¹	76	8	52	24

※¹ 親会社株主に帰属する中間純利益

グループ会社 (億円)	2021年9月期 決算		2020年9月期 決算
	前年同期比	2020年9月期 決算	2020年9月期 決算
3 中間純利益※ ²	18	7	11

※² 持株会社・銀行を除くグループ会社の親会社株主に帰属する中間純利益の合計

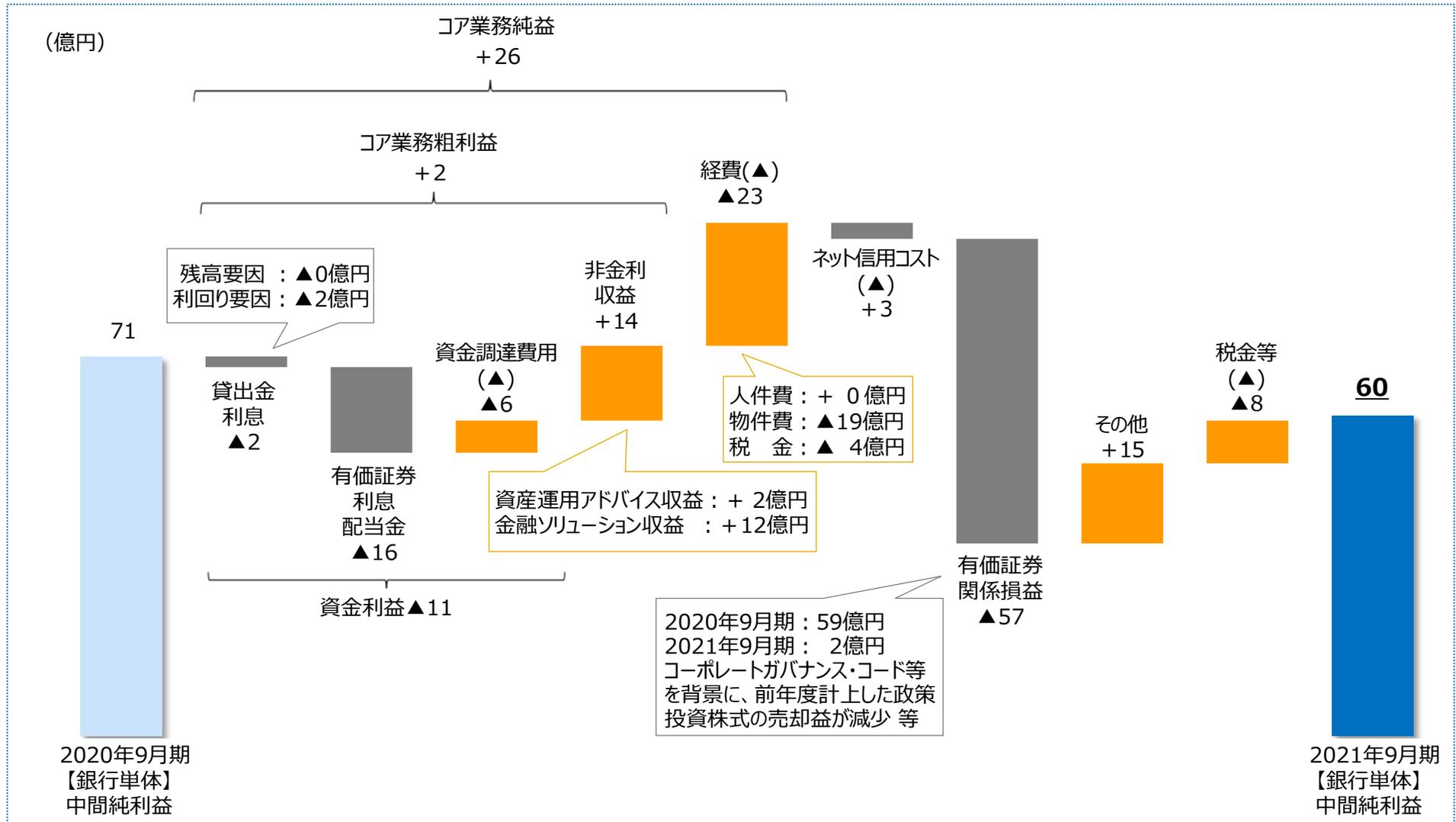
<FG連結> 増減要因



銀行単体 (億円)	2021年9月期		2020年9月期
	決算	前年同期比	決算
4 業務粗利益	386	▲ 10	397
5 (コア業務粗利益)	414	2	411
6 資金利益	309	▲ 11	321
7 (うち貸出金利息)	226	▲ 2	229
8 (うち有価証券利息配当金)	91	▲ 16	107
9 (うち資金調達費用)	11	▲ 6	18
10 役員取引等利益	67	2	65
11 その他業務利益	9	▲ 0	10
12 (除く国債等債券損益)	37	12	24
13 (うち国債等債券損益)	▲ 28	▲ 13	▲ 14
14 経費	300	▲ 23	324
15 実質業務純益	85	12	73
16 コア業務純益	113	26	87
17 (除く投資信託解約損益)	113	26	87
18 業務純益	84	15	69
19 臨時損益	0	▲ 36	36
20 経常利益	84	▲ 20	105
21 特別損益	▲ 0	0	▲ 1
22 中間純利益	60	▲ 11	71
23 <ネット信用コスト>	35	3	32
24 <有価証券関係損益>	2	▲ 57	59
25 <経営統合関連費用(全体)> ※ ³	14	▲ 2	16

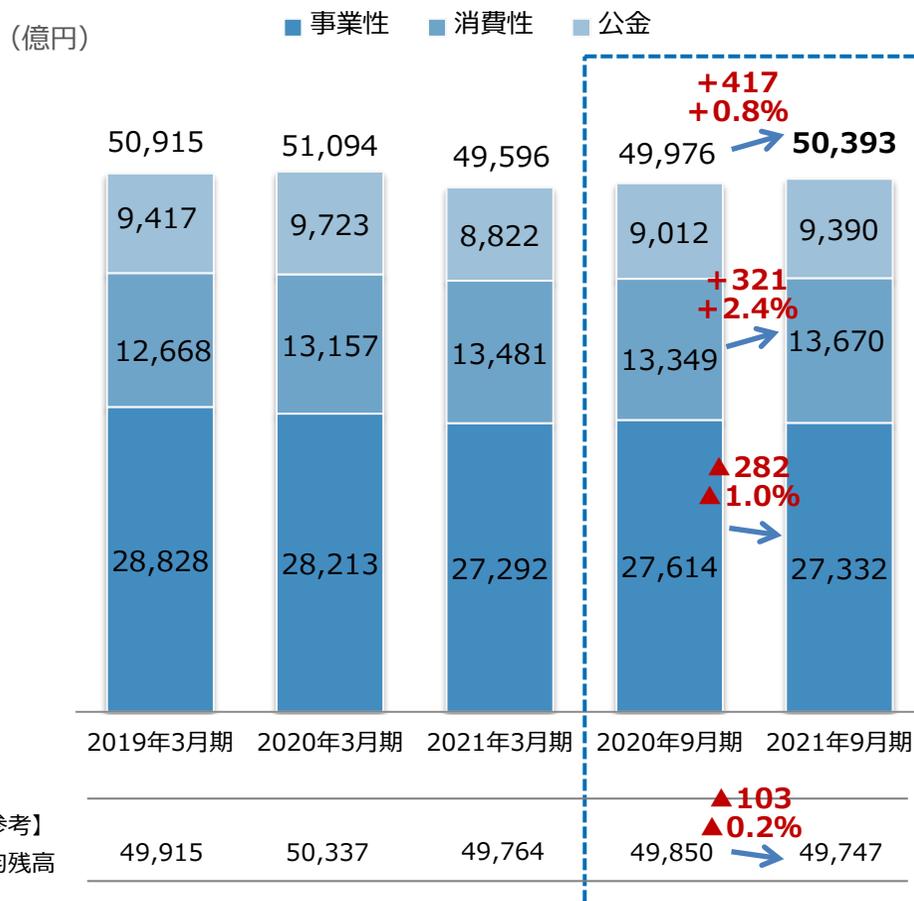
※³ 「経費」「臨時損益」等に計上されている経営統合関連費用の合計

<銀行単体> 増減要因 第四北越銀行



- 新型コロナウイルスの影響長期化に対し、経営理念に基づき、新潟県経済の下支えを最優先とし、地域経済の金融の目詰まりを防ぐとともに、グループ会社が持つ機能も積極的に活用した多面的な支援を継続
- 消費性貸出は前年同期比+321億円と順調に増加し、総貸出金残高は同+417億円
- 事業性貸出は前年の積極的な新型コロナウイルス対応への支援の反動により微減

貸出金残高（末残）



新型コロナウイルスに関する対応

(2021年9月までの累計)

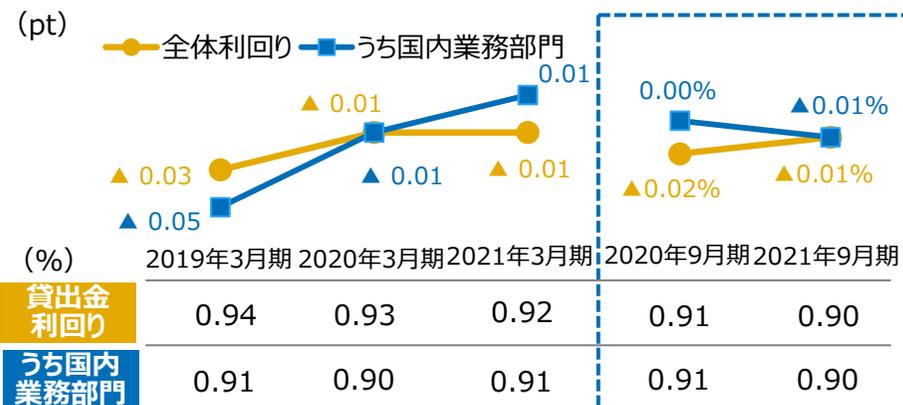
【事業性貸出】新型コロナウイルス関連融資と条件変更の対応状況（実行分）

単位：件、億円	件数	金額
新規融資	10,239	2,738
うち 保証協会付	9,519	1,725
条件変更	1,518	1,211

【消費性貸出】新型コロナウイルスの影響による住宅ローンの条件変更の対応状況（実行分）

単位：件、億円	件数	金額
条件変更	215	49

貸出金利回りの増減推移

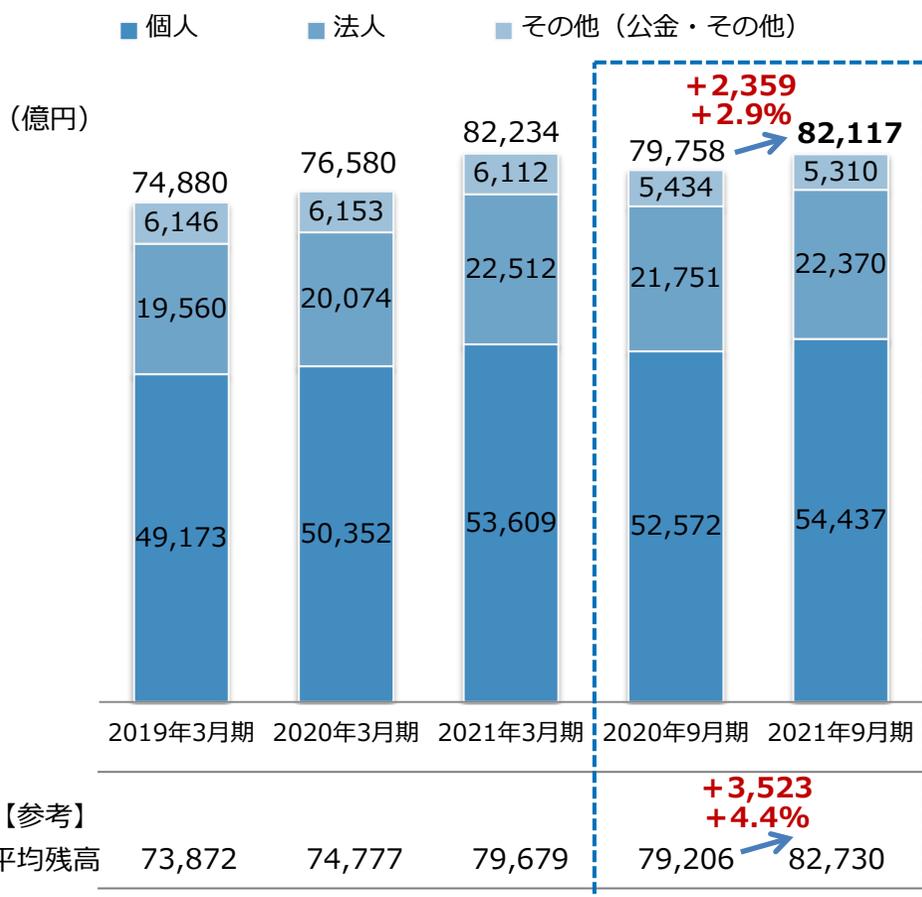


【参考】
平均残高

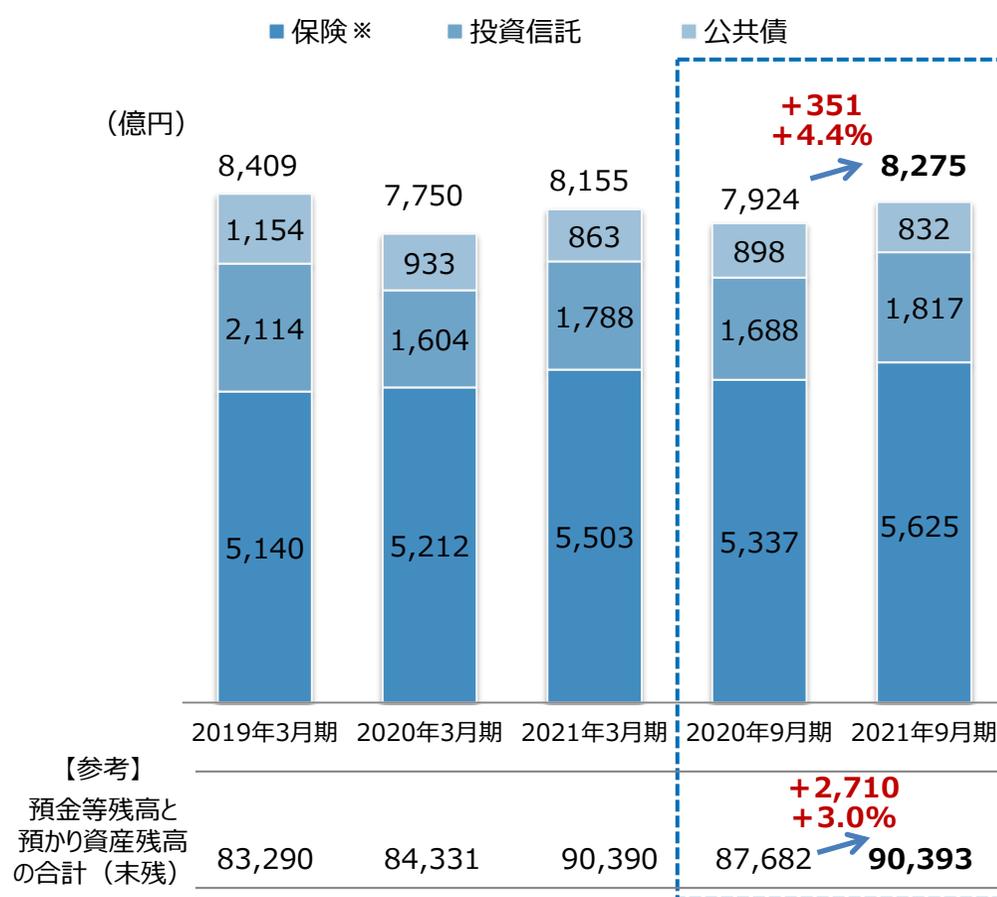
預金等残高・預かり資産残高

- 預金等残高は 前年同期比 +2,359億円と堅調に推移
- 預かり資産残高は保険、投資信託が順調に増加し、全体では前年同期比 +351億円
- 預金等預かり資産の合計残高は9兆393億円

預金等（含む譲渡性預金）残高（末残）



預かり資産残高（末残）



※保険残高については、子銀行の合併に伴い算出方法を統一したため、過年度との比較の観点から、過去に遡り変更した計数との比較を記載しております。

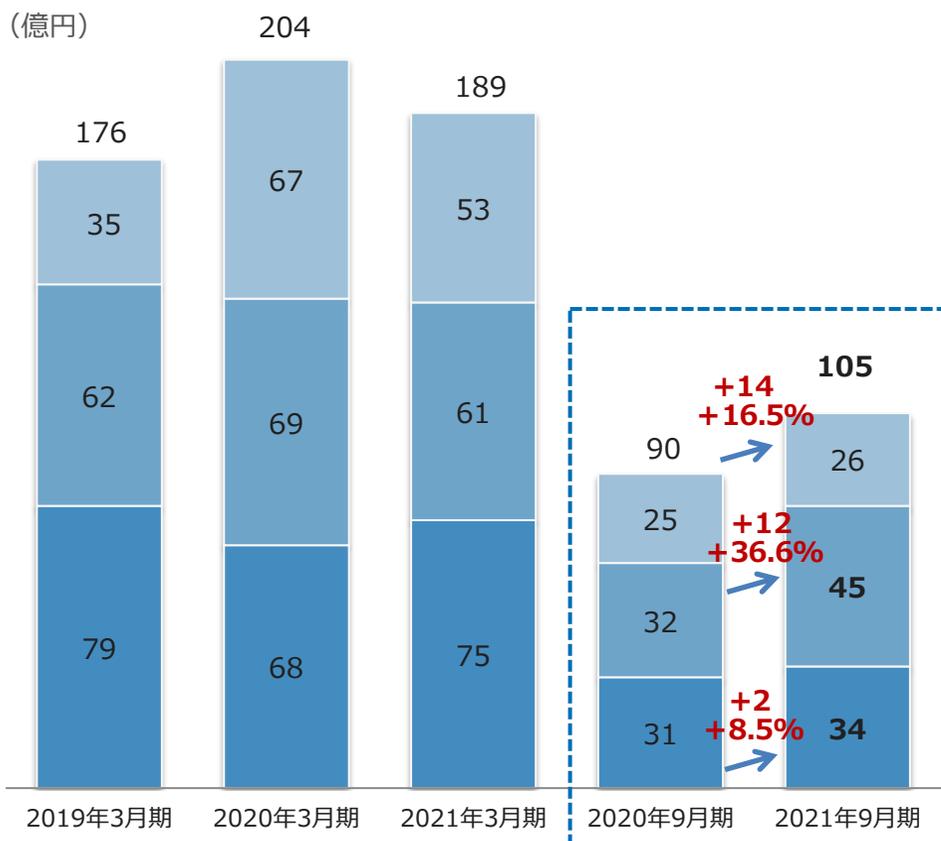
非金利収益分野

(役務取引等利益 + その他業務利益 (除く国債等債券損益) の合計)

- 合併によるノウハウの共有や、重複機能の整理を通じたグループ内での戦略的な経営資源の再配分など、合併シナジーやグループシナジー発揮に向けた諸施策に、スピード感をもって取り組み、非金利収益全体は前年同期比 +14億円
- グループ証券仲介収益が前年同期比 +83%、M&A収益が同 +192%と大きく増加

非金利収益

■ 資産運用アドバイス ■ 金融ソリューション ■ その他

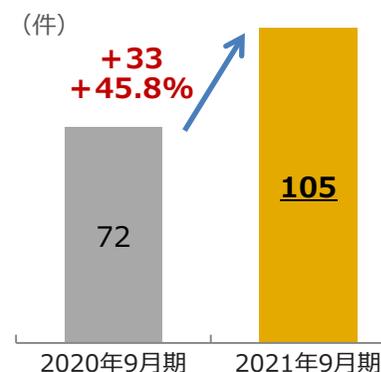


資産運用アドバイス

グループ証券仲介収益※

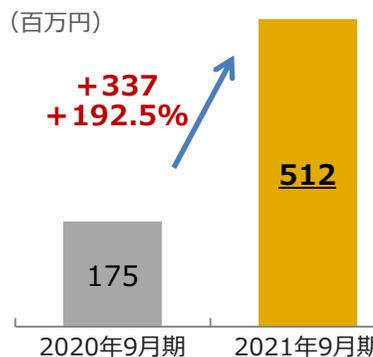


遺言信託等の取扱い件数

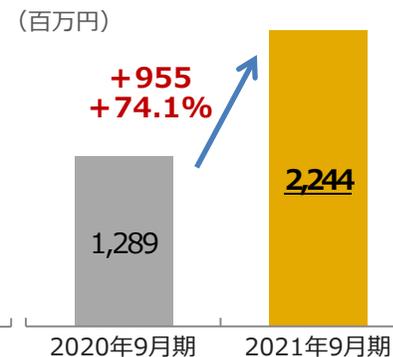


金融ソリューション収益

M&A収益



為替デリバティブ収益



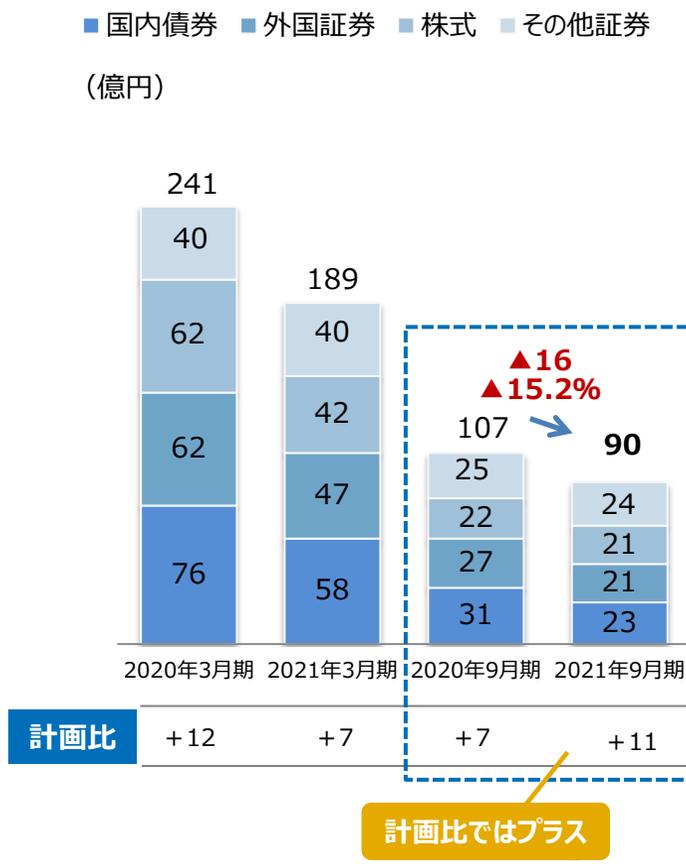
- 有価証券残高は国内外の株式・債券等への分散投資を継続し、前年度末比+707億円
- 有価証券利息配当金は、国内債券、外国証券の受取利息の減少により、前年同期比▲16億円（計画比では+11億円）

有価証券残高（末残）



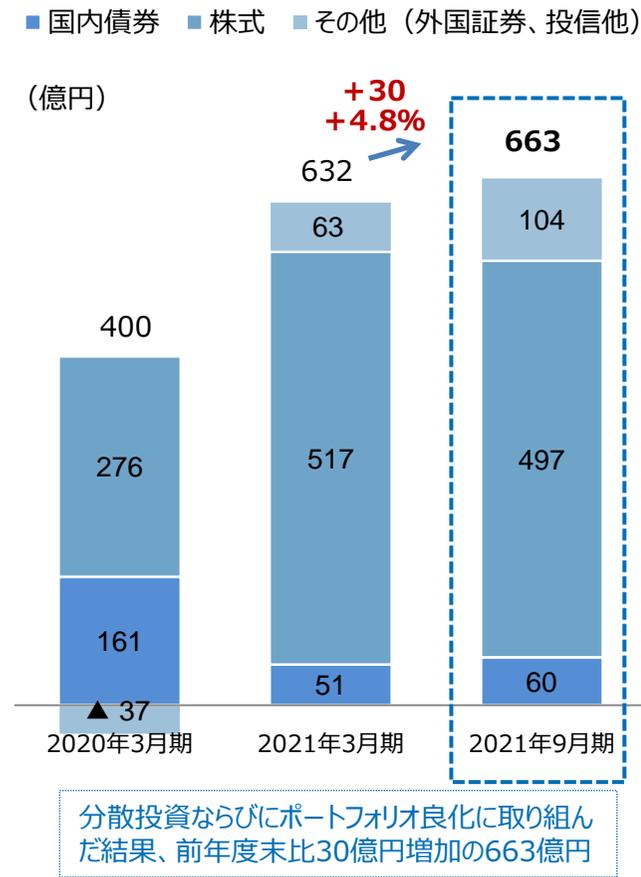
※デュレーションはヘッジ目的の金利スワップ考慮後
※商品有価証券を除く

有価証券利息配当金



※計画比は外貨調達等コスト考慮後で表示
※商品有価証券を除く

評価損益



※商品有価証券を除く

有価証券残高（末残）の推移

(億円)

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2021年9月期
国債	7,675	6,166	5,728	5,033
地方債	3,935	5,254	6,433	7,203
公社公団債	946	885	769	741
金融債	179	92	66	61
事業債	2,234	2,231	2,225	2,063
株式	1,471	1,119	1,372	1,358
外国証券	4,181	3,870	4,052	4,142
その他証券	4,318	3,569	3,768	4,519
合計	24,942	23,190	24,416	25,124

※ 2019年3月期、2020年3月期は、合併前の旧2行の計数を単純合算して記載しております。

有価証券残高増減内訳

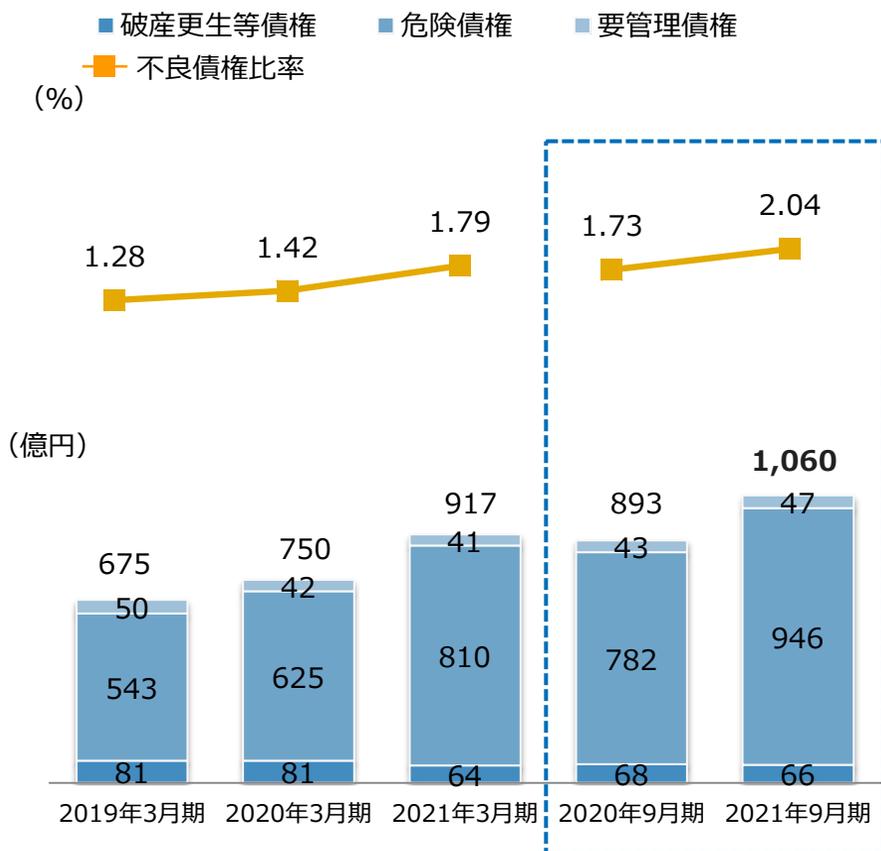
(2021年3月末比)

(億円)

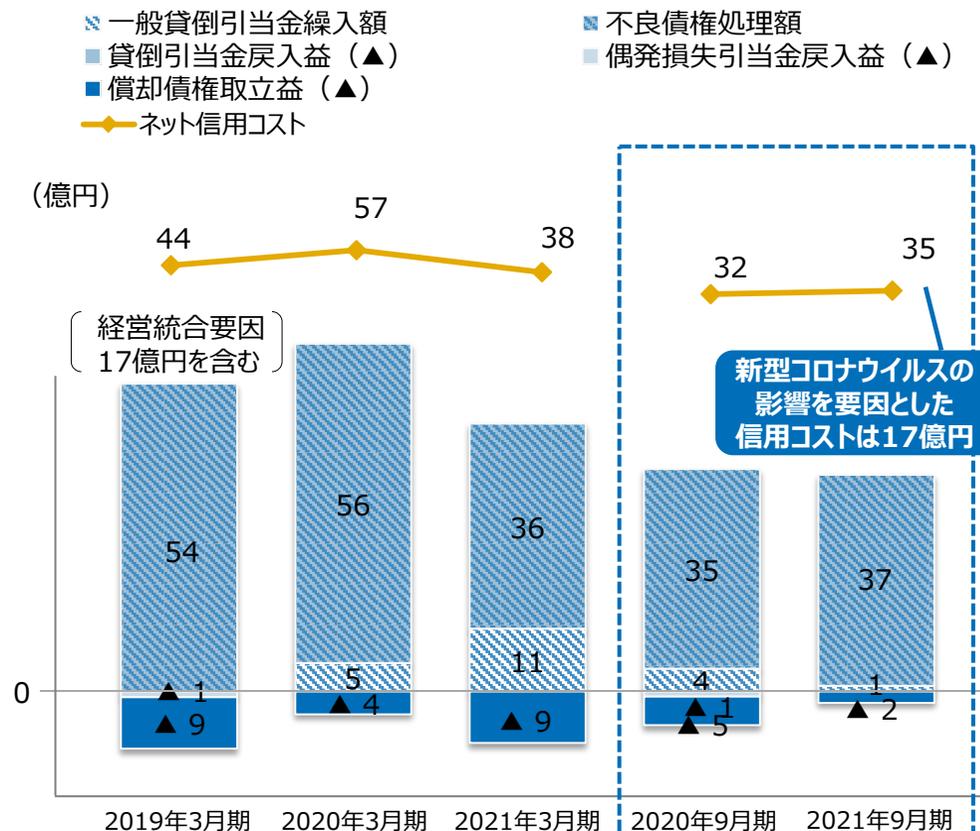
国内債券（利回り：0.30%）	▲ 119
購入	2,861
売却	▲ 1,948
その他（償還・時価要因等）	▲ 1,032
株式（利回り：4.91%）	▲ 13
購入	95
売却	▲ 86
その他（償却・時価要因等）	▲ 22
外国証券（利回り：1.06%）	89
購入	1,002
売却	▲ 719
その他（償還・時価要因等）	▲ 193
その他証券（利回り：1.18%）	750
購入	2,762
売却	▲ 2,045
その他（償還・時価要因等）	33

- 業績悪化の長期化を要因とした企業のランクダウンが県内外で発生したことなどから、不良債権比率は前年同期比+0.31ptの2.04%、ネット信用コストは同+3億円の35億円
- 審査部門の経営改善支援態勢を拡充し、お取引先へのご支援に注力

不良債権比率と不良債権額

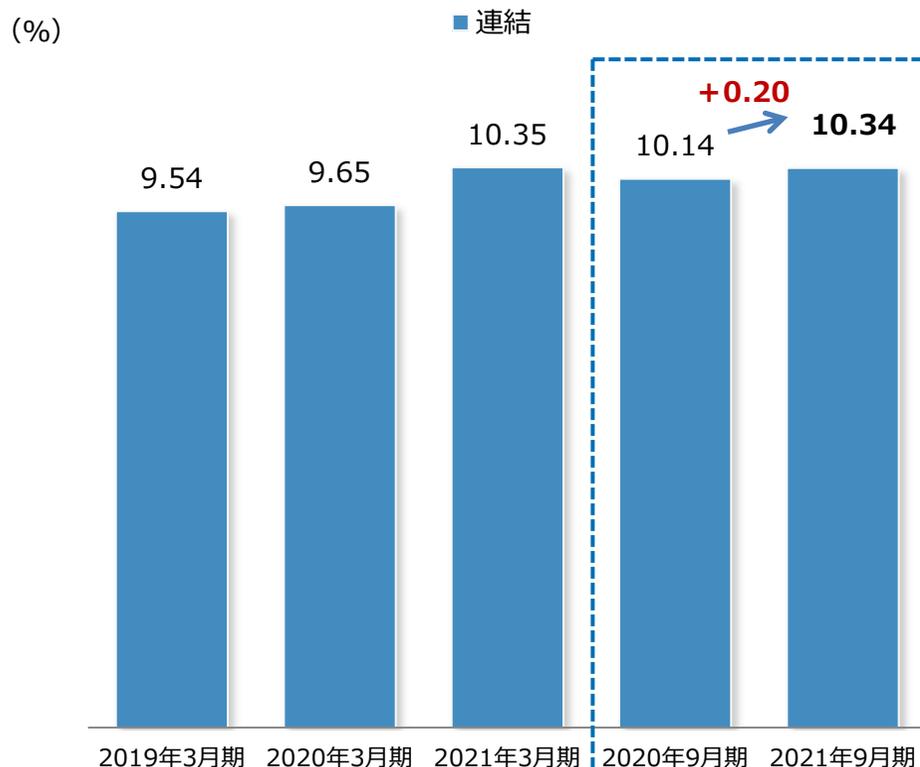


ネット信用コスト



- FG連結での自己資本比率は、2020年9月末比+0.20%の10.34%と十分な水準を確保

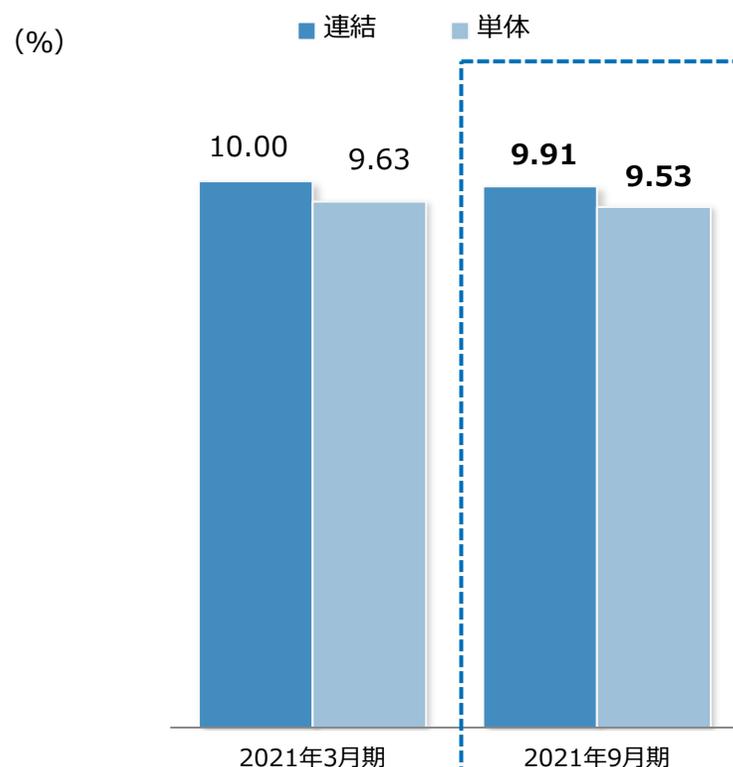
FG連結



(億円)

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2020年9月期	2021年9月期
自己資本額	3,746	3,783	3,881	3,838	3,926
リスクアセット	39,268	39,192	37,472	37,841	37,959

第四北越銀行



(億円)

	2021年3月期		2021年9月期	
	(連結)	(単体)	(連結)	(単体)
自己資本額	3,725	3,545	3,741	3,557
リスクアセット	37,238	36,800	37,734	37,291

グループ各社の状況

(百万円)

会社名	主要な事業の内容	資本金	売上高 (営業収益)			経常利益			当期純利益		
			2020年 9月期	2021年 3月期	2021年 9月期	2020年 9月期	2021年 3月期	2021年 9月期	2020年 9月期	2021年 3月期	2021年 9月期
(株)第四北越銀行	銀行業務	32,776	60,589	117,475	54,957	10,522	14,791	8,474	7,172	10,150	6,003
第四北越証券(株)	証券業務	600	2,139	5,766	2,955	565	1,871	1,537	402	1,299	1,063
第四北越キャリアブリッジ(株)	人材総合コンサルティング業務	30	23	55	74	4	17	36	4	17	28
第四信用保証(株)	信用保証業務	50	812	1,639	855	534	1,219	464	351	802	305
北越信用保証(株)	信用保証業務	210	354	692	321	334	559	398	237	372	280
だいし経営コンサルティング(株)	コンサルティング業務 ・パンチャキプル	20	58	121	78	10	21	10	7	15	6
(株)ホクギン経済研究所	経済・社会に関する 調査研究、情報提供業務	30	68	134	50	11	18	7	7	12	5
第四リース(株)	総合リース業務	100	8,281	16,255	8,053	359	743	282	238	491	187
北越リース(株)	総合リース業務	100	2,788	5,414	2,427	92	170	112	60	111	76
第四コンピューターサービス(株)	コンピューター関連業務	15	543	1,195	416	17	42	5	11	28	4
第四ジェーシービーカード(株)	クレジットカード・ 信用保証業務	30	704	1,381	737	195	355	195	130	237	131
第四ディーシーカード(株)	クレジットカード業務	30	391	781	398	34	63	33	22	43	22
北越カード(株)	クレジットカード・ 信用保証業務	20	440	859	394	62	186	89	40	124	59

2021年10月1日付グループ会社再編

・第四リース(株)は第四北越リース(株)へ商号変更しFG100%子会社化／だいし経営コンサルティング(株)は第四北越キャピタルパートナーズ(株)へ商号変更しFG100%子会社化／
(株)ホクギン経済研究所は第四北越リサーチ&コンサルティング(株)へ商号変更しFG100%子会社化



DAISHI HOKUETSU
Financial Group

第四北越フィナンシャルグループ

お問い合わせ先

第四北越フィナンシャルグループ

経営企画部

T E L 025-224-7111

E-mail g113001@dhbk.co.jp

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。